

世界の主要地域の年齢別将来人口

山口 喜一・笠原里江子

1 国連推計による世界の将来人口

国際連合は、世界人口の傾向を細かく分析した結果に基づいて、逐次、世界の将来人口を推計してきたが¹⁾、1974年8月、ブカレストで開催された世界人口会議 (United Nations World Population Conference) に新しい将来推計人口を提出し²⁾、さらに、その後の新しいデータによってこれを修正して、「1973年推計」という最新の世界の将来人口を推計し発表しつつある³⁾。この1973年推計は、過去、国連が行なった第1回の1951年推計から数えて第6回目に当たるが、第1回から6回までの結果を簡単に取りまとめてみると表1のごとくなる。

これによってわかるように、第5回までの世界の将来人口は、改算のたびごとにしだいに拡大していた。それは、基礎資料の整備や推計方法の進歩にもよるが、世界の実際人口の増加率が常に予想以上に高まってきたことによるところが大きかった。ところが、最も新しい1973年推計では、従来の傾

1) "The Past and Future Growth of World Population—A Long-Range View" *Population Bulletin No. 1* (United Nations publication, Sales No.: 52. XIII. 2); "Framework for Future Population Estimates, 1950-1980, by World Regions", *Proceedings of the World Population Conference, 1954*, Vol. III (United Nations publication, Sales No.: 55. XIII. 8), pp. 283-328; *The Future Growth of World Population* (United Nations publication, Sales No.: 58. XIII. 2); *World Population Prospects as Assessed in 1963* (United Nations publication, Sales No.: 66. XIII. 2); *World Population Prospects as Assessed in 1968* (United Nations publication, Sales No.: 72. XIII. 4).

このうちのいくつかが邦訳されて、人口問題研究所の資料として印刷発行されている。すなわち、上田正夫・浜英彦訳、『国際連合人口部：世界人口の過去と将来』（部内資料）、1954年；上田正夫・浜英彦・小山美紗子訳編、『世界の将来人口 1955—75年、1975—2000年 国際連合推計』（研究資料第125号）、1958年；高橋辰子訳編、『世界の将来人口 1963年国際連合推計』（研究資料第185号）、1968年。

2) "World and Regional Population Prospects", Prepared by the United Nations Secretariat (E/CONF. 60/CBP/15, April 1974).

3) "World Population Prospects, 1970-2000, as Assessed in 1973" (United Nations Population Division Working Paper, ESA/P/WP. 53, March 1975); "Selected World Demographic Indicators by Countries, 1950-2000" (United Nations Population Division Working Paper, ESA/P/WP. 55, May 1975); "Single-Year Population Estimates and Projections for Major Areas, Regions and Countries of the World, 1950-2000" (United Nations Population Division Working Paper, ESA/P/WP. 56, October 1975); および "Population by Sex and Age for Regions and Countries, 1950-2000, as Assessed in 1973: Medium Variant" (United Nations Population Division Working Paper, ESA/P/WP. 60, February 1976).

これらはなお作業文書 (Working Paper) であるが、近く最終報告書として公刊されるものと思われる。なお、関連推計資料として "Trends and Prospects in Urban and Rural Population, 1950-2000, as Assessed in 1973-1974" (United Nations Population Division Working Paper, ESA/P/WP. 54, April 1975) がある。

表 1 国際連合各回の将来世界人口推計結果の比較

(単位 100万人)

年次	1951年推計 (第1回)	1954年推計 (第2回)	1957年推計 (第3回)	1963年推計 (第4回)	1968年推計 (第5回)	1973年推計 (第6回)
1950	<u>2,406</u>	<u>2,454</u>				
1955 { 高 中 低		2,625 <u>2,603</u> 2,581	<u>2,690</u>			
1960 { 高 中 低			2,920 <u>2,910</u> 2,900	<u>2,998</u>		
1965					<u>3,289</u>	
1970 { 高 中 低			3,500 <u>3,480</u> 3,350	3,659 <u>3,592</u> 3,545	<u>3,632</u>	<u>3,610</u>
1975 { 高 中 低		3,628 <u>3,378</u> 3,144	3,860 <u>3,830</u> 3,590	4,070 <u>3,944</u> 3,840	<u>4,022</u>	3,980 <u>3,967</u> 3,948
1980 { 高 中 低	3,636 <u>3,277</u> 2,976	3,990 <u>3,628</u> 3,295	4,280 <u>4,220</u> 3,850	4,551 <u>4,330</u> 4,147	<u>4,457</u>	4,413 <u>4,373</u> 4,315
2000 { 高 中 低			6,900 <u>6,280</u> 4,880	6,994 <u>6,130</u> 5,449	7,104 <u>6,494</u> 6,077	6,637 <u>6,253</u> 5,838

国連発表の将来人口推計に関する諸資料による(本文脚注1),3)参照。ただし、最新の1973年推計は、UN, *World Population Prospects, 1970-2000, as Assessed in 1973* (ESA/P/WP. 53, 10 March 1975) によるが、この数値はその後さらに修正されているので注意を要する。アンダー・ラインを付した数値は推計基準人口。年次の欄の「高」は高位推計、「中」は中位推計、「低」は低位推計を意味する。中位推計値が代表的性格をもつので太字体で示した。

向とは逆に将来推計人口が小さくなっている。

その理由は二つあり、その第1は、推計の出発点の1970年の世界人口が修正・改訂されたことである。前回の1968年推計における1970年人口と今回改訂された1970年人口を比較対照すると表2のとおりであるが、1968年推計での世界人口は36億3,180万となっていたのが、1973年推計では、これより約2,200万少ない36億960万になっている。それは、センサスの把握率(1970年前後に世界的に人口調査が行なわれた)がまず挙げられるが、主として発展途上地域の出生力が1960年代の10年間に、いままですみ込まれなかったような低下が生じたことと、他方、死亡率が予想されたような低下を示さなかったことによる。しかも、すでに出生力が低水準に下がっている先進地域において、予想されなかった低下が起きていることも重なっている。また、ヨーロッパの多くの国で男の死亡率の改善が進まなかったことが、先進地域における修正の差となっている。

第2の理由は、以上のような出生力の低下傾向が、将来人口の予測により強く考慮されたことである。したがって、表1に示したごとく、西暦2000年の世界人口も、前回では64億9,400万となっていたのが、今回では62億5,300万となって、2億4,100万も少なくなったわけである。

ところで今回の1973年推計であるが、それは、1970年を基準年として2000年に至るまで、表2に示されたような世界の主要8地方(Region)、24の地域(Country or Area)、およびそこに含まれる国々について将来人口が推計されている。また、総再生産率(Gross Reproduction Rate)が2を超えて出生力が高い地域を開発途上の地域(Less Developed Regions)とし、総再生産率が2に満た

表 2 国際連合の1968年推計および1973年推計による1970年の主要地方
および国・地域別総人口の差異（中位推計値）

（人口単位 1,000）

Region and Country or Area	Population in Year 1970 as Assessed in		Difference	
	1 9 6 8	1 9 7 3	Absolute	Percentage
World Total	3,631,798	3,609,600	-22,198	- 0.61
More Developed Regions	1,087,891	1,084,018	- 3,873	- 0.36
Less Developed Regions	2,543,907	2,525,582	-18,325	- 0.72
A. Africa	344,484	351,594	7,110	2.06
1. Eastern Africa	97,882	99,818	1,936	1.98
2. Middle Africa	35,893	40,446	4,553	12.68
3. Northern Africa	86,606	85,627	- 979	- 1.13
4. Southern Africa	22,832	24,201	1,369	6.00
5. Western Africa	101,272	101,501	229	0.23
B. Latin America	283,253	283,020	- 233	- 0.08
6. Caribbean	25,785	24,616	- 1,169	- 4.53
7. Middle America	67,430	67,003	- 427	- 0.63
8. Temperate S. America	36,972	36,073	- 899	- 2.43
9. Tropical S. America	153,066	155,328	2,262	1.48
C.10. Northern America	227,572	226,389	- 1,183	- 0.52
D. East Asia	929,932	926,221	- 3,711	- 0.40
11. China	773,654	771,840	- 1,814	- 0.23
12. Japan	104,512	104,331	- 181	- 0.17
13. Other East Asia	51,766	50,050	- 1,716	- 3.31
E. South Asia	1,125,843	1,101,199	-24,644	- 2.19
14. Eastern South Asia	286,925	282,969	- 3,956	- 1.38
15. Middle South Asia	761,809	741,710	-20,099	- 2.64
16. Western South Asia	77,109	76,520	- 589	- 0.76
F. Europe	462,120	459,085	- 3,035	- 0.66
17. Eastern Europe	104,082	102,942	- 1,140	- 1.10
18. Northern Europe	80,953	80,309	- 644	- 0.80
19. Southern Europe	128,466	127,696	- 770	- 0.60
20. Western Europe	148,619	148,137	- 482	- 0.32
G. Oceania	19,370	19,323	- 47	- 0.24
21. Australia & New Zealand	15,374	15,371	- 3	- 0.02
22. Melanesia	2,767	2,771	4	0.14
23. Micronesia & Polynesia	1,229	1,181	- 48	- 3.91
H.24. U.S.S.R.	242,612	242,768	156	0.06

Source: 1968 estimates: *World Population Prospects as Assessed in 1968* (United Nations Publication, Sales No. 72. XIII. 4), pp. 114-120.

1973 estimates: Prepared by the United Nations Population Division in 1973.

Note: The population by regions covered by the 1968 projections have been adjusted to those covered by the 1973 projections in order to make easy comparisons.

UN, *World Population Prospects, 1970-2000, as Assessed in 1973* によるが、1973年推計は、その後一部地域の人口が修正されている（本文脚注7）参照。付表に示されている人口は修正値によっているので対比されたい。各地域に含まれる国・地区については付表を参照。

ないで出生力が低く調整されている地域を先進地域 (More Developed Regions) として、世界の将来人口をこの二つの地域に大別して掲げている。

なお、この1973年推計は、国連の第2次開発10年計画の評価に必要な最新の資料を提供する目的もあって行なわれたものであり、したがって、前回の1968年推計に基づく都市・農村別人口、経済活動人口、農業・非農業別人口、就業人口、世帯および家族など、UNとILO、FAOならびにUNESCOなどの諸機関とによって発表されている諸推計の改訂も計画のなかに含まれている⁴⁾。

この稿は、今回の国連1973年推計による主要地域・国の男女、年齢別将来人口の結果を中心に、別途に試算推計した日本のそれとの比較を、統計資料と簡単な説明を付け加えて紹介するものである。

2 1973年推計の推計内容の要点⁵⁾

前節にも述べたが、1973年推計は1970年の男女、年齢別人口を基礎として、2000年に至るまでの5年ごとに、8の主要地方、24の地域、およびそこに含まれる200以上の国や地区について男女、年齢5歳階級別の将来人口を推計している。ただし、人口規模が25万未満の国または地区では総人口のみ推計されている。総人口については、毎年の数値がすべての国や地区について補間推計されている。

推計は四つの仮定を設けて行なわれており、推計結果としては、総人口はその四つ、すなわち「高位推計値 (High Variant)」、 「中位推計値 (Medium Variant)」、 「低位推計値 (Low Variant)」および「出生力一定推計値 (Constant Variant)」のすべてが示されているが⁶⁾、年齢別人口については「中位推計値」のみが掲げられている⁷⁾。

また、1970年の男女、年齢別人口を前回の1968年推計以降に明らかにされた資料によって推計し直しているので、1950年から70年までの5年ごとの地域および国の男女、年齢別人口も改訂推計され、併せて掲示されている。

次に、推計方法の概要を述べておくと、1973年推計も従来と同様、「コウホート要因法 (Cohort Component Method)」によって行なわれている。これは、男女別年齢別に用意された基準人口から出発して、各年齢の人口が1年後に1歳だけ年齢を加えたとき生存している数を計算し、他方、その1年間に生まれる出生数を計算し、男女に分けたうえで、期末に生存している数を計算するという方法である。したがって、この方法で推計を行なうためには、男女、年齢別の基準人口、生存率（または死亡率）および出生率が必要であり、出生数を男女に分ける出生性比も必要である。出生性比はともかくとして、死亡率と出生率は将来の年次について変化するものと考えなければならないので、これらをどのようにして想定するかが推計作業における最も重要な点である。それから、人口の地域間移動の仮定も容易でない。

4) 前注2)の資料に、主要8地方、24地域に関するそれらの将来推計値が掲載されている。

5) 1973年推計については、すでに本誌第138号の雑報欄に、伊藤達也稿、「世界の将来推計人口 (1973年推計)」として紹介されているので、併せ参照されたい。

6) 前注3)の“World Population Prospects, 1970-2000, as Assessed in 1973”。ただし、補間推計分である“Single-Year Population Estimates and Projections for Major Areas, Regions and Countries of the World, 1950-2000”には中位推計値しか掲載されていない。

7) 前注3)の“Population by Sex and Age for Regions and Countries, 1950-2000, as Assessed in 1973: Medium Variant”。なお、このWorking Paperにおいて、それ以前に刊行されていたWPに発表されていた数値に若干の修正がなされているので注意を要する。修正された国を列挙すると、東ドイツ、チェコスロバキア、韓国およびアフリカの11か国（ケニア、モザンビーク、ナミビア、ガーナ、モーリタニア、ニジェール、ナイジェリア、セネガル、シエラレオネ、トーゴおよびオートボルタ）である。したがって、それらが含まれる地域および世界総数が修正されたが、その差は僅小である。

1973年推計における仮定値は、当然ながら国や地区ごとの事情に応じて設定されている。出生、死亡および移動についての仮定のたて方を略記すると次のとおりであるが、今回の推計では推計方法上いくつかの新機軸が見られ、その一つは出生率および死亡率の将来推移モデルを広範囲に適用したことである⁸⁾。

まず出生の仮定であるが、出生力の低下には、現在の出生率のレベルのみでなく、経済社会開発水準、地理的文化的な地域性、それから家族計画の動向などについても考慮がはられ、次のフレームによって仮定値が設定されている。すなわち、(1)出生力レベルは、長期的にみて単純再生産のレベルに向かうものとする。(2)家族計画の動向は、出生率低下のテンポに関連させる。(3)出生力の低下が始まると、はずみがついて総再生産率(G. R. R.)が2.5を下回ると1.5まで急速に低下する。(4)家族計画への反応に地域差があり、その結果、出生率低下は早くなったり遅くなったりするので、出生力低下のテンポについては文化的要因を考慮した。

今回の推計における方法論的改革の一つは、総再生産率と、平均出生年齢および再生産年齢の幅が異なる9種類の「地域モデル出生力表」を作成し、資料精度の良くない開発途上地域の出生率仮定に用いたことである。

死亡についての一般の仮定は、出生時の平均余命が徐々に伸びる形で代表させている。途上地域の死亡率改善の見通しに当たっては、二つの「モデル生命表」(国連のものとCoal-Demenyのそれ)が適用されている⁹⁾。そして、途上地域の死亡の改善は急速に進むものと仮定され、出生時の平均余命が55年に達しない地域では、5年間に2.5年ずつ伸びるように、また余命が55年を上回る地域では、男の場合、国連のモデル生命表の72.6年を最高として、5年間に2.5年未満の伸びを示すものと仮定されている。なおまた、出生時の平均余命の男女差は、これまでの最高時で3.5年だったのを、約5年の差としている。

次に国際人口移動の仮定であるが、今世紀末に掛けてしだいに減少するという前提のもとに立てられている。まず、国際移動統計がほとんど得られないアフリカと、移動が人口変動に与える影響がきわめて小さいアジアは考慮されていない。アメリカ合衆国への移入民は、5年間に200万人と仮定した合衆国センサス局の数字をそのまま採用している。また南ヨーロッパ、北アフリカおよびトルコからの西ヨーロッパへの転入は、今世紀末に向かってしだいに減少するものと仮定している。

以上に人口動態の仮定を略述したが、先にも述べたように、今回の1973年推計は四つの推計値から成っている。出生力低下の開始の時を遅めに仮定した場合を「高位」の仮定、比較的早い時期に始めると仮定したものを「低位」の仮定とし、その中間を「中位」の仮定としている。また「出生力一定」とは、1970年の出生水準を向後一定としたもので、他の三つの推計値の出生率、死亡率および移動の仮定値が人口にどのような影響を与えるのかの測定に用いることもできる。

3 日本の将来人口推計

国連推計には日本についての将来推計人口も示されており、その推計値もこの資料の付表に併載している。また、人口問題研究所では随時、必要に応じて日本の将来人口推計作業を行っており、そ

8) これらについては、別な印刷物で詳述されることが予告されている。前注3)の“World Population Prospects as Assessed in 1973”。

9) UN, *Manual III. Methods for Population Projections by Sex and Age* (ST/SOA/Series A, Population Studies No. 25), United Nations, New York, 1956.

Ansley J. Coale and Paul Demeny, *Regional Model Life Tables and Stable Populations*, Princeton University Press, Princeton, 1966.

の最新のものは1975(昭和50)年2月推計として発表されている¹⁰⁾。しかし、いずれもすでに実状に合わなくなっているので、ここでは独自に試算した結果をもって、国際比較の材料にすることとした。

人口問題研究所の1975年2月推計は、1970(昭和45)年国勢調査の結果による男女、年齢別人口を基準人口(沖縄を含む)として、1970年から2000年までは出生率、死亡率の毎年の仮定(死亡率は1985年以降一定)に基づき男女、年齢別人口を推計したものである。また、2000年から2050年までは、2000年における出生率、死亡率の仮定値を一定として、5年ごとの男女、年齢5歳階級別人口を計算したもので、延長投影したものにはすぎない。推計はやはりコウホート要因法を使っている。

推計方法の要点は、おおむね次のようである。わが国では、経験的に、外国との人口流出入は総人口に対してきわめて小さく、国外からの流入と国外への流出とはほぼ相等しいから、これを無視し、言い替えれば出生と死亡とだけで変動する封鎖的人口を仮定している。死亡については、推計当時得られた欧米先進諸国の生命表の男女、年齢別死亡確率を比較し、その最低の値の部分と接合して将来の目標値とした。この場合、1985年の出生時の平均余命は男子73.27年、女子78.18年であるが、1985年から以降の死亡率は変わらないものとした。一方、出生については女子の年齢5歳階級別特殊出生率を採り、それぞれの年齢階級における既往の変動傾向を分析し、欧米の経験も徴して将来の傾向を仮定しているが、高低5種の仮定を設け、その中央の値を代表値とした。この仮定による1985年における合計特殊出生率(Total Fertility Rate)は、最高2.30、最低2.00、そして中央の値2.20となり、さらに中央値は2000年に2.10へと低下するものと設定している。なお、出発点である1970年の合計特殊出生率は2.095で5コース共通であった。なおまた、2000年以降についてはこれらの出生率はいずれも一定と仮定された。

ところで、この推計は1975年2月に行なったものなので、その後、同年10月1日現在で実施の「昭和50年国勢調査」の結果が発表され、将来人口推計に必要な基準人口として男女、年齢別人口の数値が新たに得られたことと、この推計時において利用できなかった1974年以降の人口動態統計もかなり得られ、しかも、その結果によると、出生率が予想外に低下を続けていることが判明し、その影響を加味して将来人口を改算することの必要性が生じている。このように、当時設定した仮定値と現在までに得られた実績値との間に開差が認められるので、ここには、暫定的な修正を施した結果を示すこととした¹¹⁾。推計は、一応1975年を出発点として2000(昭和75)年までの5年ごとについて行なってみた。

この試算推計は、基準人口(男女年齢別)から出発して将来年次の生存数を計算し、また、将来の出生数(男女別)を計算してその生存数を求めるという従来と同様の方法によった。言うまでもなく、基準人口は最新の国勢調査による1975年10月1日の男女別、年齢別人口(1%抽出集計)である。

生存率の仮定は、1975年2月推計時より死亡の状況がわずかながら改善されているので、男子の出生時の平均余命が73.52年、女子のそれは78.78年とやや延長する生命表を作成し、その生命表の年齢別生存率を1985年の目標生存率とした。推計に用いる1975年以降85年までの各年次の生存率は、1974~75年生命表(第28回簡速静止人口表)の生存率と1985年目標生存率とを直線補間して求めた。1985年以降の年次については、85年の値を不変としている。

出生率については、現在、低水準にある出生率がここ数年中にある程度回復してゆくものとみた。すなわち、1975年に1.91に低下した合計特殊出生率が、80年には2.01に、そして85年には2.10の水準

10) 厚生省人口問題研究所、『日本の将来推計人口—全国男女年齢別、昭和45~125年—昭和50年2月推計』(研究資料第208号)、1975年。

11) 人口問題研究所においては、現在、新しいデータに基づく将来人口の推計作業を進めており、近くその結果が公表される予定。

表 3 日本人口の年齢（3区分別）構造の推移および将来予測

年次	人 口 (1,000人)				年齢構造係数 (%)			従属人口指数 (%)			老年化指数 (%)
	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総 数	年少人口	老年人口	
1920	55,963	20,416	32,605	2,941	36.48	58.26	5.26	71.6	62.6	9.0	14.4
1925	59,737	21,924	34,792	3,021	36.70	58.24	5.06	71.7	63.0	8.7	13.8
1930	64,450	23,579	37,807	3,064	36.59	58.66	4.75	70.5	62.4	8.1	13.0
1935	69,254	25,545	40,484	3,225	36.89	58.46	4.66	71.1	63.1	8.0	12.6
1940 ¹⁾	⁸⁾ 73,075	26,369	43,252	3,454	36.08	59.19	4.43	69.0	61.0	8.0	13.1
1947	78,101	27,573	46,783	3,745	35.30	59.90	4.79	66.9	58.9	8.0	13.6
1950	³⁾ 83,200	29,428	49,658	4,109	35.37	59.69	4.94	67.5	59.3	8.3	14.0
1955	⁸⁾ 89,276	29,798	54,729	4,747	33.38	61.30	5.32	63.1	54.4	8.7	15.9
1960	93,419	28,067	60,002	5,350	30.04	64.23	5.73	55.7	46.8	8.9	19.1
1965	98,275	25,166	66,928	6,181	25.61	68.10	6.29	46.8	37.6	9.2	24.6
1970	103,720	24,823	71,566	7,331	23.93	69.00	7.07	44.9	34.7	10.2	29.5
1975 ²⁾	⁸⁾ 111,934	27,187	75,843	8,858	24.29	67.76	7.91	47.5	35.8	11.7	32.6
1980	117,229	27,895	78,898	10,436	23.80	67.30	8.90	48.6	35.4	13.2	37.4
1985	121,705	27,386	82,410	11,909	22.50	67.71	9.79	47.7	33.2	14.5	43.5
1990	125,640	25,842	85,889	13,909	20.57	68.36	11.07	46.3	30.1	16.2	53.8
1995	129,426	25,841	87,082	16,503	19.97	67.28	12.75	48.6	29.7	19.0	63.9
2000	133,011	26,913	87,036	19,061	20.23	65.44	14.33	52.8	30.9	21.9	70.8

1975年以前は国勢調査の結果により、1980年以降は人口問題研究所推計の暫定修正値（本文参照）である。各年10月1日現在人口で、1947～70年は沖縄を含まない。年齢構造係数は各年齢階級人口の総人口に占める割合。年少（従属）人口指数は0～14歳人口の15～64歳人口に対する比率、老年（従属）人口指数は65歳以上人口の15～64歳人口に対する比率、従属人口指数（総数）は0～14歳と65歳以上人口の15～64歳人口に対する比率、老年化指数は65歳以上人口の0～14歳人口に対する比率である。

1) 外国人を除く。2) 1%抽出集計結果。3) 年齢不詳の人口を含む。

にまで戻るものと仮定した。なお、国際間の人口移動は従来どおり考慮しなかった。

表3には、その試算結果を年齢3大区別に過去の推移につなげて掲げたが、これに付随して計算した年齢構造係数や各種の年齢構造指数も併載している。これによって、次節に国連推計による主要国・地域の年齢別将来人口と対比させることとする。

4 年齢別将来人口の国際比較——特に人口高齢化の傾向について

人口を年齢別に3大区分してみた年齢構造係数によって、まず各国の年齢構造の現状を見よう¹²⁾。1975年(国勢調査)におけるわが国の15歳未満の年少人口係数は24.3%であるが、これは、近年は著しい出生力低下を示しているものの、戦後の出生ブームが長年にわたって続いたアメリカ合衆国(25.3%)よりも低く、また同様の傾向を示すオーストラリア(28.3%)に比べて著しく低く、イギリス、イタリア(いずれも24.0%)やフランス(24.2%)に近接している。世界の先進地域の平均が25.0%であるので、日本の年少人口係数は低い部類に入るとみられる。現在、この係数が世界で最も小さい

12) ここには、国連の1973年推計による将来予測としての1975年人口を示しているが、実際の調査や推計による最新の人口は、UN, *Demographic Yearbook, 1974* によらねばならない。それについては、本誌前号に掲載の山口喜一・石川晃稿、「最近における世界主要国人口の年齢構造に関する主要指標」を参照。

のは、長年にわたって低出生力国であるハンガリー(20.1%)で、これに次ぐのがスウェーデン(21.0%)、西ドイツ、フィンランド(いずれも21.8%)などである。これに対して、開発途上にある地域のこの係数は、付表に示したごとく、高い出生率を反映して40%を超えるところが多い(平均で40.4%)。なお、世界全体の平均は36.0%である。

次に、15～64歳でみた日本の生産年齢人口係数は67.8%で、現在、世界最高である。これに迫るのがフィンランド(67.3%)、ハンガリー(67.2%)、ポーランド(67.0%)、ブルガリア(66.8%)などである。生産年齢人口係数の地域隔差はそれほど大きくなく、全体の平均でも、先進地域が64.5%、途上地域が55.8%を示している。低いところを特に拾い出してみると、パキスタン(50.5%)、メキシコ(50.6%)、フィリピン、バングラデシュ(いずれも51.1%)、タイ(51.2%)などであるが、ともかく、日本の生産年齢人口係数は際立って高い。このことは、わが国人口の年齢構造が、次に見る老年人口係数は7.9%で、先進国の10%ないし15%に比べてまだ低い点と合わせ考えると、現在、老齢化というよりも中・高年齢化の過程にあることを物語っている。

最後に、65歳以上の老年人口係数であるが、欧米先進国のすべてが日本を上回っている。現在、最もこの係数が高いところは東ドイツ(16.6%)であり、これに、オーストリア(15.1%)、スウェーデン(14.9%)、西ドイツ(14.3%)、ベルギー(14.1%)、イギリス、ノルウェー(いずれも13.6%)などが続いている。ちなみに、ヨーロッパ以外の地域にある国で、この係数が10%を超えるところは、現在のところアメリカ合衆国(10.4%)のみであり、先進地域の平均もほぼこの水準で10.5%になっている。世界平均では5.7%であり、また、途上地域の平均係数は3.8%にすぎない。

以上見たように、現在のわが国人口は、欧米先進国に比べてまだ若いと言ってよい。国連は、老年人口係数が4%未満の国を「青年の国(Young Country)」、4～7%の国を「壮年の国(Adult Country)」、7%以上の国を「老年の国(Mature Country)」と分類しているそうだが、この定義によって、世界の200余の国・地域のなかから老年の国を拾い出してみると、わずか30数か国ほどにしかならない¹³⁾。日本が7%台の係数を示すようになったのは1970年代に入ってからのものであり、最近やっとその仲間入りをしたばかりである。しかし、近い将来の1980年代後半には10%の水準に達すると予測され、先進国の現在の水準に近接するとみられる。後に見るように、欧米先進地域では1世紀前後の時間を経て到達した水準に、日本はきわめて短い時間で到達することになると推測されるわけで、現在、日本の人口は先進国中最も若い方であるが、人口高齢化の速度は著しく急速であると言えよう。図1には、主要国の年齢3区分別構造の推移と将来予測が示してあるが、これによってもその様子がよくわかる。

なお、付表には世界の主要地域・国における従属人口指数や老年化指数も併示しておいたが、現在(1975年)の日本の年少(従属)人口指数は35.85%であって、年少人口係数が比較的 low、生産年齢人口係数が高い結果、国際的にみて低い水準の国の一つとなっている。一方、老年(従属)人口指数は11.68%であり、老年人口係数が先進国に比べてまだ低い結果、先進国中の最低を示し、従属人口指数(総数)も47.53%で、ここに掲げたすべての外国と比べて最低である。日本に次いで低いのはフィンランド(48.5%)、ハンガリー(48.9%)、ポーランド(49.4%)、ブルガリア(49.7%)などである。また、老年化指数の32.58%も先進国中の最も低い値の一つである。

さて、次に将来の年齢構造であるが、紙幅の関係もあるので、特に人口の高齢化傾向の見通しに限定するが、世界を先進地域と途上地域とに2大別して年齢構造を観察すると、その差はきわめて大きい。すなわち、1975年の年少人口係数は、先進地域の25.0%に対して開発途上地域では40.4%であり、

13) United Nations, *Demographic Yearbook*, 1974 による。

図1 主要国の年齢（3区分別）構造の変化

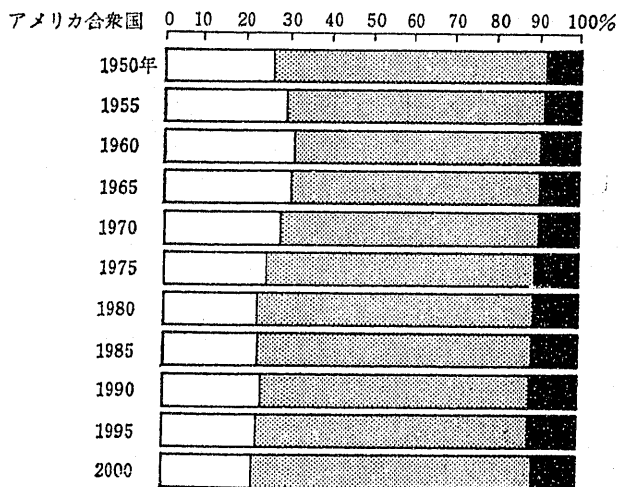
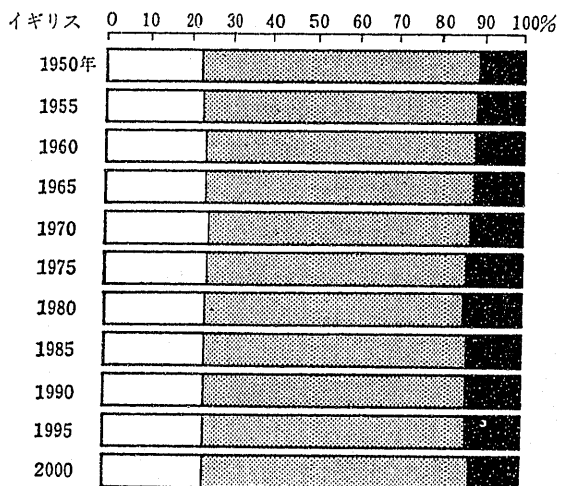
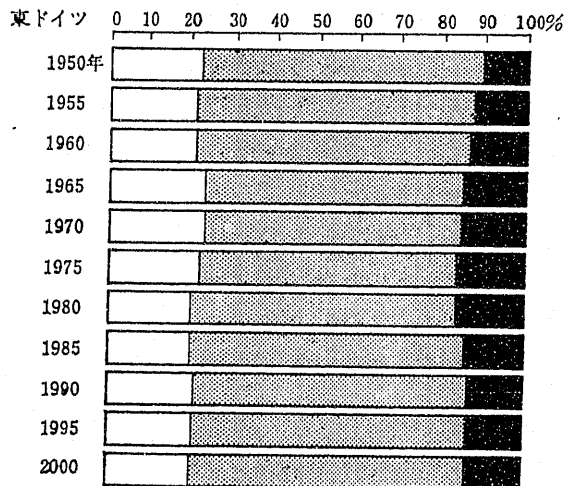
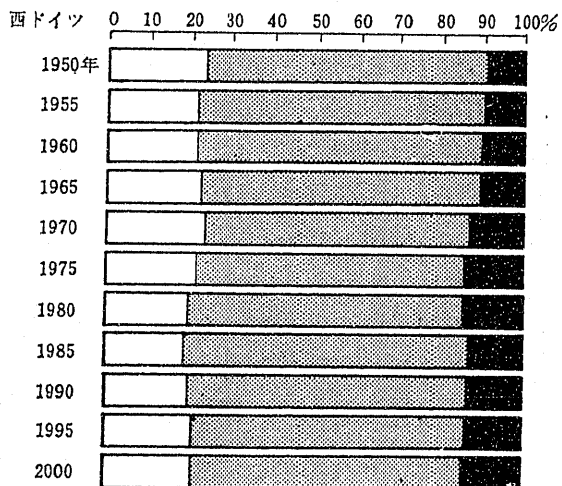
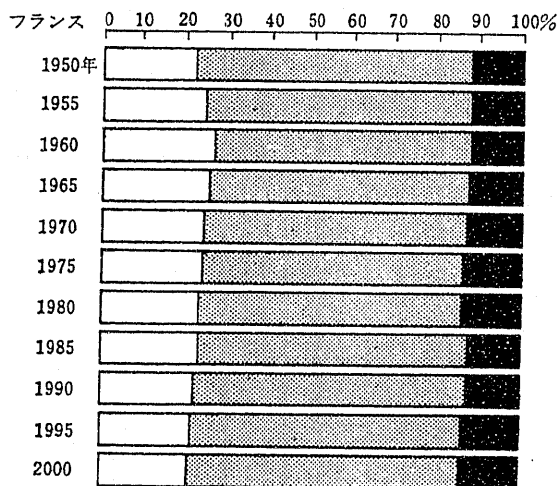
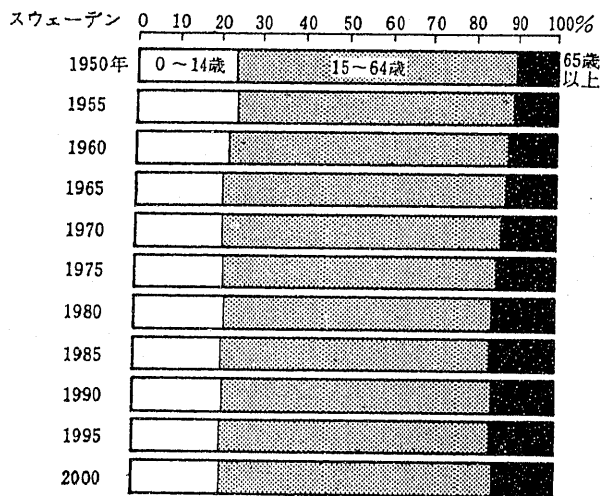
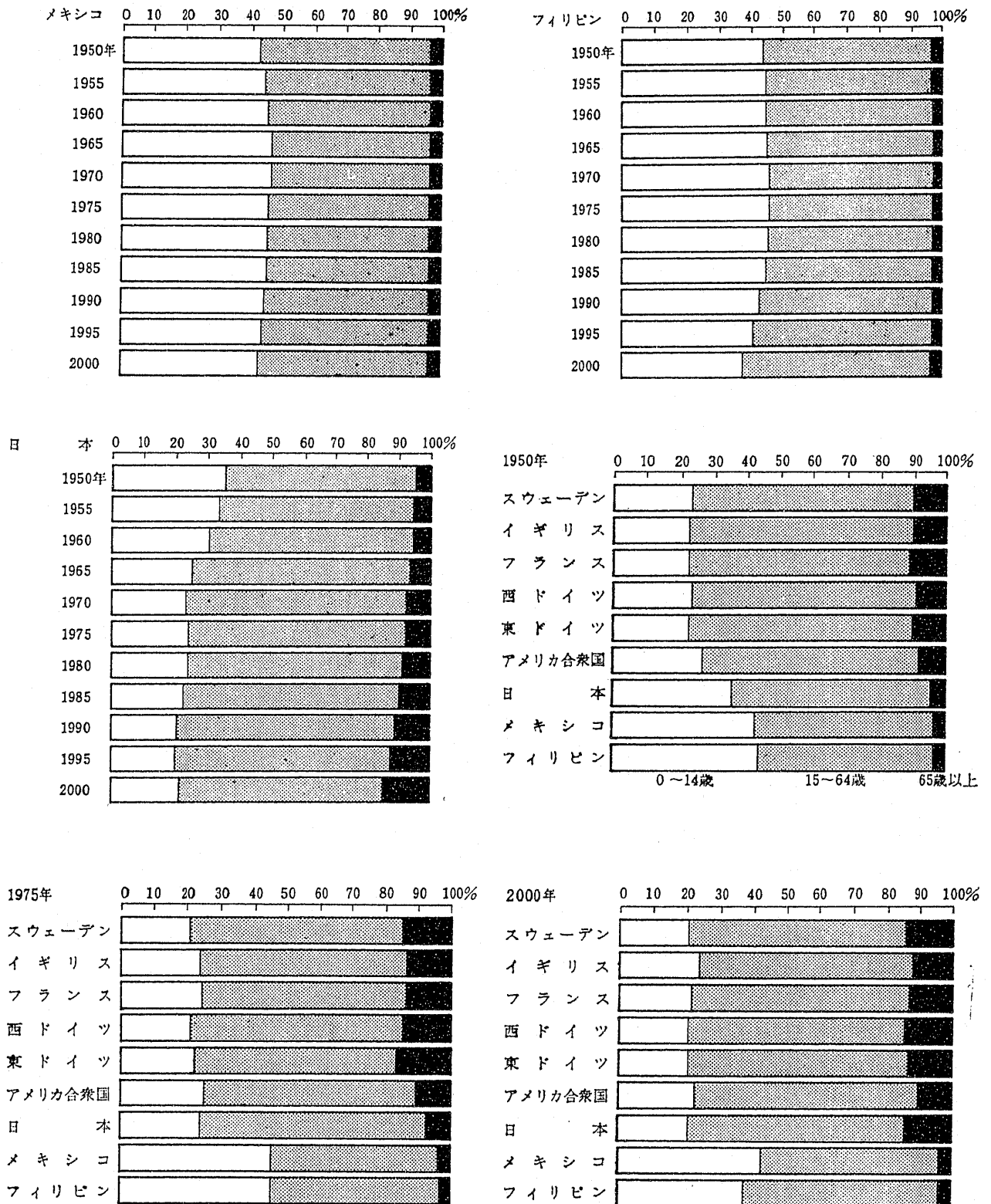


図 1 (つづき)



UN, *Population by Sex and Age for Regions and Countries, 1950-2000, as Assessed in 1973: Medium Variant* (ESA/P/WP. 60), Feb. 1976 に基づく。付表を参照。

1990年ころまではそれほど大きな変化はないが、90年以降に出生率低下の影響が現われ、2000年では、途上地域の年少人口係数は35.1%に低下し、生産年齢人口係数は60%台に増大する。先進地域の生産年齢人口係数は、2000年までほぼ65%を前後するあまり変化のない傾向で、年少人口が22.6%にまで減少するとみられる分だけ、すべて老年人口係数（12.4%）の増大となる見込みである。

それでは高齢化についてであるが、上にも見てきたように、日本人口の高年齢化の傾向が今後、先進地域の後を追って、それよりも急速なテンポで進む見通しが立てられるが、改めてここで、比較のために、現在、世界で老年人口係数が高いという意味で高齢化していると思われる国々の将来人口予測を、過去から現在までの推移と併せて見てみよう。

表4には、おもな先進国の老年人口係数の推移を示してあるが、これによると、現在、日本人口の高齢化段階はフランスの1870年代、スウェーデンの1890年代、イギリスの1930年代に当たる。このように、わが国人口の高齢化の進行がヨーロッパ先進国に比べて数十年遅れていることは、先進国においては出生率低下が日本よりはるかに早くから始まっていたことからみて当然であるが、そのことよりも、そこに現われているさらに重要な事実、それら先進国における人口高齢化の速度が比較的緩やかであったことである。特にフランスとスウェーデンにおいては、老年人口係数が5%を超えてから10%を超えるまでに半世紀以上の時間を費やしている。これに比べると、日本の場合はきわめて急速である。

表4 主要先進国の老年人口係数の推移

(%)

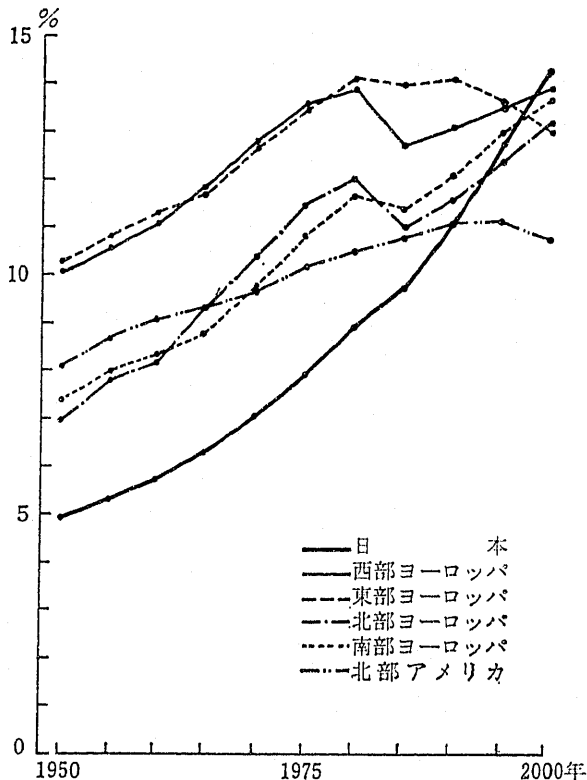
年次	スウェーデン	ドイツ		フランス	イギリス	アメリカ合衆国	日本
		西	東				
1850	4.78		...	4) 6.47	4) 4.64
1860	5.22		...	5) 6.89	5) 4.68
1870	5.43		...	6) 7.41	13) 4.79	...	6.69
1880	5.90		4.72	7) 8.11	7) 4.62	...	6.43
1890	7.68		5.10	8) 8.28	8) 4.77	...	6.34
1900	8.37		4.88	9) 8.20	9) 4.69	4.07	5.43
1910	8.44		5.04	10) 8.36	10) 5.22	4.30	5.20
1920	8.40		1) 5.77	11) 9.05	11) 6.03	4.67	5.26
1930	9.20		2) 7.36	12) 9.35	12) 7.40	5.41	4.75
1940	9.41	3) 8.86	3) 9.98	11.42	14) 8.97	6.85	4.73
1950	10.25	9.41	10.57	11.38	10.73	8.14	4.94
1955	10.91	10.15	12.27	11.56	11.27	8.75	5.32
1960	11.97	10.85	13.68	11.64	11.68	9.23	5.73
1965	12.66	11.93	14.60	12.11	12.00	9.47	6.29
1970	13.66	13.18	15.54	12.87	12.94	9.85	7.07
1975	14.88	14.28	16.62	13.34	13.64	10.36	7.91
1980	15.66	14.86	16.42	13.36	14.14	10.73	8.90
1985	15.97	13.41	13.99	12.08	13.93	11.00	9.79
1990	16.13	13.58	13.23	12.77	13.91	11.26	11.07
1995	15.46	13.96	13.11	13.32	13.49	11.26	12.75
2000	14.47	14.55	13.61	13.70	12.85	10.91	14.33

65歳以上人口の総人口に占める割合。1950年以降は図1注記の資料および1940年以前は同じくUN, *The Aging of Populations and Its Economic and Social Implications* (Population Studies, No. 26), 1956による。ただし日本は、1910年以前は人口問題研究所の推計、1920年以降は表3による。

1) 1925年, 2) 1933年, 3) 1946年, 4) 1851年, 5) 1861年, 6) 1872年, 7) 1881年, 8) 1891年, 9) 1901年, 10) 1911年, 11) 1921年, 12) 1931年, 13) 1871年, 14) 1939年。

これもすでに見たところであるが、欧米先進国の現在の老年人口係数は10~15%であって、わが国よりも先行している。日本人口の老年人口係数が10%に達するのは1980年代後半と予測されるが、現在、特に高齢化している国の水準である14%台に迫り着くのは2000年（14.33%）であり、今から25年後ということになる。

図2 主要地域の老年人口係数の推移



65歳以上人口の総人口に占める割合。表4注記の資料に基づく。

ところで、高齢化が先行しているそれらの国々は、どのような状態になっているかを調べてみると、スウェーデンの老年人口係数は、1975年の14.9%が80年に15.7%、85年に16.0%、90年に16.1%、95年に15.5%、2000年に14.5%となる見込みであり、1990年をピークとして、高齢化の程度はやや緩むものと見られている。また、イギリスでは1975年の13.6%が、80年に14.1%、85年と90年に13.9%、95年に13.5%、そして2000年には12.8%となって、1980年をピークとして、高齢化傾向がむしろ退行するものと予測されている。現在、世界で最も人口が高齢化している東ドイツも1975年の16.6%を頂点として、80年が16.4%、90年が13.2%、2000年が13.6%というように、高齢化の程度が緩む傾向にあり、他の先進地域もおおむね同様の状態で推移するものと予測されている。図2には、ヨーロッパを四つの地域に大別し¹⁴⁾、これに北部アメリカ(合衆国とカナダ)と日本を重ねて、老年人口係数の将来推移の予測傾向を示しているが、これによってもその状況がよくわかる。

ともかく、日本の老年人口は絶対的にも相対的にも急速に増加し、このままでゆけば、将来、世界でもまれにみる老人国となるかも知れないのである。すなわち、延長推計をしてみると、2010年代には65歳以上の老年人口が総人口の18%を占めるほどになって、そのような著しい高齢化を経験した国はまだ見当たらないのではないか。欧米の先進地域は、長期間にわたって徐々に高齢社会への道をたどってきたが、現在ほぼその頂点に到達した状態であり、その意味で、むしろ安定した高齢社会であると言えることができよう。これに対してわが国は、これら地域の後を急テンポで追いかけているのであるが、近い将来それに追いつくだけでなく、それ以上の高齢社会になりそうであるという点に留意しなければならない¹⁵⁾。そして、単に年齢構造係数のみを問題にするのではなく、老年人口の大きさも非常に問題であるということを忘れてはならない。たとえ、高齢化の傾向が同じとしても、人口の絶対数が多ければ、国土や資源との関連においてより重大な事態となる。

14) 地域とそこに含まれる国々については付表参照。

15) 岡崎陽一、「高齢社会の人口問題」、『季刊社会保障研究』, Vol. 11, No. 2, 1975年の12~21ページ、および財団法人人口問題研究会、『人口高齢化とその問題』(人口情報昭和51年度第4号)、1976年近刊を参照。

付表 世界の主要地域・国別人口の年齢構造に関する主要指標：1950年～2000年

年次	人 口 (1,000人)				年齢構造係数 (%)			従属人口指数 (%)			老年化指数 (%)
	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総 数	年 少 人 口	老 年 人 口	
World total											
1950	2,501,213	874,185	1,489,968	137,057	34.95	59.57	5.48	67.9	58.7	9.2	15.7
1955	2,722,326	968,707	1,607,701	145,927	35.58	59.06	5.36	69.3	60.3	9.1	15.1
1960	2,985,979	1,094,244	1,733,663	158,073	36.65	58.06	5.29	72.2	63.1	9.1	14.4
1965	3,288,118	1,215,916	1,895,866	176,328	36.98	57.66	5.36	73.4	64.1	9.3	14.5
1970	3,610,377	1,320,368	2,091,277	198,732	36.57	57.92	5.50	72.6	63.1	9.5	15.1
1975	3,967,864	1,428,261	2,312,929	226,673	36.00	58.29	5.71	71.6	61.8	9.8	15.9
1980	4,374,110	1,555,825	2,563,009	255,275	35.57	58.59	5.84	70.7	60.7	10.0	16.4
1985	4,816,537	1,703,314	2,836,936	276,289	35.36	58.90	5.74	69.8	60.0	9.7	16.2
1990	5,280,017	1,836,050	3,133,319	310,648	34.77	59.34	5.88	68.5	58.6	9.9	16.9
1995	5,762,564	1,943,860	3,465,412	353,294	33.73	60.14	6.13	66.3	56.1	10.2	18.2
2000	6,254,377	2,025,831	3,832,527	396,018	32.39	61.28	6.33	63.2	52.9	10.3	19.5
More developed regions											
1950	857,305	239,303	553,384	64,619	27.91	64.55	7.54	54.9	43.2	11.7	27.0
1955	914,772	254,266	587,108	73,399	27.80	64.18	8.02	55.8	43.3	12.5	28.9
1960	975,748	279,964	613,866	81,920	28.69	62.91	8.40	59.0	45.6	13.3	29.3
1965	1,036,355	290,055	653,737	92,564	27.99	63.08	8.93	58.5	44.4	14.2	31.9
1970	1,084,018	289,170	690,584	104,262	26.68	63.71	9.62	57.0	41.9	15.1	36.1
1975	1,131,684	283,032	730,161	118,491	25.01	64.52	10.47	55.0	38.8	16.2	41.9
1980	1,181,002	282,787	767,356	130,859	23.94	64.97	11.08	53.9	36.9	17.1	46.3
1985	1,230,706	293,477	804,315	132,914	23.85	65.35	10.80	53.0	36.5	16.5	45.3
1990	1,277,396	303,879	829,690	143,827	23.79	64.95	11.26	54.0	36.6	17.3	47.3
1995	1,319,849	307,577	853,777	158,494	23.30	64.69	12.01	54.6	36.0	18.6	51.5
2000	1,360,245	307,403	884,612	168,231	22.60	65.03	12.37	53.8	34.8	19.0	54.7
Less developed regions											
1950	1,643,908	634,883	936,587	72,438	38.62	56.97	4.41	75.5	67.8	7.7	11.4
1955	1,807,554	714,441	1,020,592	72,527	39.53	56.46	4.01	77.1	70.0	7.1	10.2
1960	2,010,230	814,280	1,119,799	76,153	40.51	55.71	3.79	79.5	72.7	6.8	9.4
1965	2,251,763	925,862	1,242,129	83,764	41.12	55.16	3.72	81.3	74.5	6.7	9.0
1970	2,526,359	1,031,197	1,400,692	94,470	40.82	55.44	3.74	80.4	73.6	6.7	9.2
1975	2,836,180	1,145,231	1,582,768	108,182	40.38	55.81	3.81	79.2	72.4	6.8	9.4
1980	3,193,108	1,273,038	1,795,653	124,417	39.87	56.24	3.90	77.8	70.9	6.9	9.8
1985	3,585,832	1,409,837	2,032,621	143,374	39.32	56.68	4.00	76.4	69.4	7.1	10.2
1990	4,002,621	1,532,171	2,303,627	166,821	38.28	57.55	4.17	73.8	66.5	7.2	10.9
1995	4,442,714	1,636,282	2,611,633	194,800	36.83	58.78	4.38	70.1	62.7	7.5	11.9
2000	4,894,133	1,718,429	2,947,918	227,786	35.11	60.23	4.65	66.0	58.3	7.7	13.3

United Nations (Population Division), *Population by Sex and Age for Regions and Countries, 1950-2000, as Assessed in 1973: Medium Variant* (ESA/P/WP. 60), 25 Feb. 1976 に掲載されている各年年央時点の年齢5歳階級別人口に基づいて算定したもの。4捨5入の関係で、年齢別人口の合計と総数とは必ずしも合致しない。年齢構造係数は各年齢階級人口の総人口中に占める割合。その他の年齢構造指数は、

年少(従属)人口指数 = 0～14歳人口 ÷ 15～64歳人口

老年(従属)人口指数 = 65歳以上人口 ÷ 15～64歳人口

従属人口指数(総数) = (0～14歳人口 + 65歳以上人口) ÷ 15～64歳人口

老年化指数 = 65歳以上人口 ÷ 0～14歳人口

前記のように、1973年推計は新たな材料を得ての修正が施されており、ここに掲げた数字は、その修正が済んだものである。したがって、表1や2に示されている数字と若干異なる個所がある(本文の注7)参照)。More developed regions は、ヨーロッパ、ソビエト連邦、日本、北部アメリカ(カナダ、アメリカ合衆国)、温帯南アメリカ(アルゼンチン、チリおよびウルグアイ)、オーストラリアおよびニュージーランドであり、Less developed regions はそれ以外のすべての地域、すなわち、アフリカ全域、カリブ海域、中央アメリカ、熱帯南アメリカ、中国、その他の東アジア、東部南アジア、中央南アジア、西部南アジア、メラネシア、ミクロネシアおよびポリネシアである。次ページ以降の各地域に所属する国々はそれぞれの表脚に示すこととする。なお、メキシコ、アルゼンチン、カナダ、アメリカ合衆国、フィリピン、東ドイツ、スウェーデン、イギリス、イタリア、フランス、西ドイツおよびオーストラリアは、特に57～59ページに別掲した。

付表 世界の主要地域・国別人口の年齢構造に関する主要指標 (つづき)

年次	人 口 (1,000人)				年齢構造係数 (%)			従属人口指数 (%)			老年化 指 数 (%)
	総 数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~ 14歳	15~ 64歳	65歳 以上	総 数	年 少 人 口	老 年 人 口	
1. Eastern Africa											
1950	61,878	27,173	32,735	1,968	43.9	52.9	3.2	89.0	83.0	6.0	7.2
1955	68,807	30,134	36,671	2,012	43.8	53.3	2.9	87.7	82.2	5.5	6.7
1960	77,193	33,772	41,335	2,085	43.8	53.5	2.7	86.7	81.7	5.0	6.2
1965	87,727	38,780	46,624	2,324	44.2	53.1	2.6	88.2	83.2	5.0	6.0
1970	99,818	44,403	52,758	2,659	44.5	52.9	2.7	89.2	84.2	5.0	6.0
1975	114,498	51,480	59,964	3,055	45.0	52.4	2.7	90.9	85.9	5.1	5.9
1980	131,992	59,611	68,784	3,597	45.2	52.1	2.7	91.9	86.7	5.2	6.0
1985	152,868	69,777	78,845	4,246	45.6	51.6	2.8	93.9	88.5	5.4	6.1
1990	177,581	81,031	91,406	5,144	45.6	51.5	2.9	94.3	88.6	5.6	6.3
1995	206,659	93,893	106,670	6,095	45.4	51.6	2.9	93.7	88.0	5.7	6.5
2000	239,861	107,646	124,879	7,335	44.9	52.1	3.1	92.1	86.2	5.9	6.8
2. Middle Africa											
1950	26,258	10,917	14,311	1,029	41.6	54.5	3.9	83.5	76.3	7.2	9.4
1955	28,758	12,027	15,674	1,057	41.8	54.5	3.7	83.5	76.7	6.7	8.8
1960	31,775	13,488	17,230	1,057	42.4	54.2	3.3	84.4	78.3	6.1	7.8
1965	35,766	15,361	19,333	1,071	42.9	54.1	3.0	85.0	79.5	5.5	7.0
1970	40,446	17,366	21,958	1,121	42.9	54.3	2.8	84.2	79.1	5.1	6.5
1975	45,310	19,315	24,698	1,296	42.6	54.5	2.9	83.5	78.2	5.2	6.7
1980	51,201	21,856	27,822	1,523	42.7	54.3	3.0	84.0	78.6	5.5	7.0
1985	58,356	25,147	31,407	1,802	43.1	53.8	3.1	85.8	80.1	5.7	7.2
1990	66,735	29,036	35,565	2,133	43.5	53.3	3.2	87.6	81.6	6.0	7.3
1995	76,485	33,359	40,593	2,532	43.6	53.1	3.3	88.4	82.2	6.2	7.6
2000	87,732	37,969	46,776	2,987	43.3	53.3	3.4	87.6	81.2	6.4	7.9
3. Northern Africa											
1950	51,806	21,785	28,146	1,874	42.1	54.3	3.6	84.1	77.4	6.7	8.6
1955	58,051	24,745	31,367	1,939	42.6	54.0	3.3	85.1	78.9	6.2	7.8
1960	65,732	28,515	35,147	2,070	43.4	53.5	3.1	87.0	81.1	5.9	7.3
1965	74,268	32,928	38,981	2,360	44.3	52.5	3.2	90.5	84.5	6.1	7.2
1970	85,627	38,310	44,408	2,906	44.7	51.9	3.4	92.8	86.3	6.5	7.6
1975	98,185	43,437	51,505	3,243	44.2	52.5	3.3	90.6	84.3	6.3	7.5
1980	113,055	49,017	60,368	3,672	43.4	53.4	3.2	87.3	81.2	6.1	7.5
1985	130,334	55,609	70,426	4,300	42.7	54.0	3.3	85.1	79.0	6.1	7.7
1990	149,748	62,736	81,926	5,084	41.9	54.7	3.4	82.8	76.6	6.2	8.1
1995	170,525	69,146	95,266	6,112	40.5	55.8	3.6	79.0	72.6	6.4	8.8
2000	191,824	73,821	110,658	7,346	38.5	57.7	3.8	73.3	66.7	6.6	10.0
4. Southern Africa											
1950	14,324	5,629	8,042	653	39.3	56.1	4.6	78.1	70.0	8.1	11.6
1955	16,122	6,396	9,027	699	39.7	56.0	4.3	78.6	70.9	7.7	10.9
1960	18,206	7,285	10,184	735	40.0	55.9	4.0	78.8	71.5	7.2	10.1
1965	20,866	8,510	11,565	788	40.8	55.4	3.8	80.4	73.6	6.8	9.3
1970	24,335	9,980	13,355	1,001	41.0	54.9	4.1	82.2	74.7	7.5	10.0
1975	27,853	11,455	15,312	1,088	41.1	55.0	3.9	81.9	74.8	7.1	9.5
1980	32,179	13,490	17,504	1,184	41.9	54.4	3.7	83.8	77.1	6.8	8.8
1985	37,143	16,451	19,323	1,370	44.3	52.0	3.7	92.2	85.1	7.1	8.3
1990	42,692	18,671	22,427	1,596	43.7	52.5	3.7	90.4	83.3	7.1	8.5
1995	49,050	20,927	26,257	1,867	42.7	53.5	3.8	86.8	79.7	7.1	8.9
2000	56,231	23,407	30,646	2,177	41.6	54.5	3.9	83.5	76.4	7.1	9.3

1. ブルンジ, コモロ, エチオピア, ケニア, マダガスカル, マラウイ, モーリシャス, モザンビーク, レユニオン, ルワンダ, ソマリア, 南部ローデシア, ウガンダ, タンザニア, ザンビアから成る地域.
2. アンゴラ, 中央アフリカ, チャド, コンゴ, 赤道ギニア, ガボン, カメルーン, ザイールから成る地域.
3. アルジェリア, エジプト, リビアンアラブ, モロッコ, スーダン, チュニジアから成る地域.
4. ボツワナ, レソト, ナミビア, 南アフリカ, スワジランドから成る地域.

付表 世界の主要地域・国別人口の年齢構造に関する主要指標（つづき）

年次	人 口 (1,000人)				年齢構造係数 (%)			従属人口指数 (%)			老年化指数 (%)
	総 数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上	総 数	年 少 人 口	老 年 人 口	
5. Western Africa											
1950	64,538	28,434	34,273	1,831	44.1	53.1	2.8	88.3	83.0	5.3	6.4
1955	71,578	31,585	38,111	1,879	44.1	53.2	2.6	87.8	82.9	4.9	5.9
1960	79,889	35,340	42,617	1,933	44.2	53.3	2.4	87.5	82.9	4.5	5.5
1965	90,160	39,952	48,071	2,130	44.3	53.3	2.4	87.5	83.1	4.4	5.3
1970	101,501	45,049	53,867	2,584	44.4	53.1	2.5	88.4	83.6	4.8	5.7
1975	115,469	51,710	60,831	2,928	44.8	52.7	2.5	89.8	85.0	4.8	5.7
1980	132,488	59,679	69,419	3,392	45.0	52.4	2.6	90.9	86.0	4.9	5.7
1985	153,000	69,702	79,259	4,037	45.6	51.8	2.6	93.0	87.9	5.1	5.8
1990	177,329	81,228	91,286	4,816	45.8	51.5	2.7	94.3	89.0	5.3	5.9
1995	205,734	93,999	105,974	5,759	45.7	51.5	2.8	94.1	88.7	5.4	6.1
2000	238,034	107,307	123,817	6,910	45.1	52.0	2.9	92.2	86.7	5.6	6.4
6. Caribbean											
1950	16,725	6,579	9,488	657	39.3	56.7	3.9	76.3	69.3	6.9	10.0
1955	18,314	7,237	10,372	705	39.5	56.6	3.8	76.6	69.8	6.8	9.7
1960	20,226	8,114	11,321	792	40.1	56.0	3.9	78.7	71.7	7.0	9.8
1965	22,489	9,140	12,399	950	40.6	55.1	4.2	81.4	73.7	7.7	10.4
1970	24,616	10,224	13,180	1,211	41.5	53.5	4.9	86.8	77.6	9.2	11.8
1975	27,116	11,042	14,691	1,383	40.7	54.2	5.1	84.6	75.2	9.4	12.5
1980	30,016	11,727	16,712	1,576	39.1	55.7	5.3	79.6	70.2	9.4	13.4
1985	33,272	12,603	18,902	1,767	37.9	56.8	5.3	76.0	66.7	9.3	14.0
1990	36,847	13,688	21,183	1,977	37.1	57.5	5.4	74.0	64.6	9.3	14.4
1995	40,662	14,713	23,738	2,212	36.2	58.4	5.4	71.3	62.0	9.3	15.0
2000	44,504	15,442	26,602	2,459	34.7	59.8	5.5	67.3	58.0	9.2	15.9
7. Middle America											
1950	35,835	15,417	19,249	1,169	43.0	53.7	3.3	86.2	80.1	6.1	7.6
1955	41,538	18,412	21,773	1,351	44.3	52.4	3.3	90.8	84.6	6.2	7.3
1960	48,689	22,272	24,835	1,581	45.7	51.0	3.2	96.0	89.7	6.4	7.1
1965	57,202	26,731	28,564	1,907	46.7	49.9	3.3	100.3	93.6	6.7	7.1
1970	67,003	31,099	33,634	2,269	46.4	50.2	3.4	99.2	92.5	6.7	7.3
1975	78,652	35,973	39,999	2,680	45.7	50.9	3.4	96.6	89.9	6.7	7.5
1980	92,631	41,828	47,641	3,161	45.2	51.4	3.4	94.4	87.8	6.6	7.6
1985	109,180	48,975	56,643	3,561	44.9	51.9	3.3	92.7	86.5	6.3	7.3
1990	128,160	56,838	67,085	4,239	44.3	52.3	3.3	91.0	84.7	6.3	7.5
1995	149,315	64,679	79,603	5,032	43.3	53.4	3.4	87.6	81.3	6.3	7.8
2000	172,670	72,268	94,421	5,983	41.9	54.7	3.5	82.9	76.5	6.3	8.3
8. Temperate South America											
1950	25,437	8,176	16,148	1,113	32.1	63.5	4.4	57.5	50.6	6.9	13.6
1955	28,065	9,103	17,597	1,367	32.4	62.7	4.9	59.5	51.7	7.8	15.0
1960	30,821	10,054	19,102	1,664	32.6	62.0	5.4	61.3	52.6	8.7	16.6
1965	33,493	10,830	20,646	2,017	32.3	61.6	6.0	62.2	52.5	9.8	18.6
1970	36,073	11,338	22,332	2,403	31.4	61.9	6.7	61.5	50.8	10.8	21.2
1975	38,747	11,773	24,142	2,832	30.4	62.3	7.3	60.5	48.8	11.7	24.1
1980	41,564	12,296	26,022	3,245	29.6	62.6	7.8	59.7	47.3	12.5	26.4
1985	44,407	12,941	27,838	3,629	29.1	62.7	8.2	59.5	46.5	13.0	28.0
1990	47,152	13,410	29,680	4,061	28.4	62.9	8.6	58.9	45.2	13.7	30.3
1995	49,719	13,576	31,615	4,529	27.3	63.6	9.1	57.2	42.9	14.3	33.4
2000	52,078	13,515	33,667	4,896	26.0	64.6	9.4	54.7	40.1	14.5	36.2

5. ベニン、ベルデ岬諸島、ガンビア、ガーナ、ギニア、ギニア-ビサウ、コートジボアール、リベリア、マリ、モーリタニア、ニジェール、ナイジェリア、セネガル、シエラレオネ、トーゴ、オートボルタから成る地域。
 6. バルバドス、キューバ、ドミニカ、グアドループ、ハイチ、ジャマイカ、マルチニーク、プエルトリコ、トリニダード-トバゴ、ウィンドワード諸島、その他のカリブ海域から成る地域。
 7. コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、ニカラグア、パナマから成る地域。
 8. アルゼンチン、チリ、ウルグアイから成る地域。

付表 世界の主要地域・国別人口の年齢構造に関する主要指標 (つづき)

年次	人 口 (1,000人)				年齢構造係数 (%)			従属人口指数 (%)			老年化 指 数 (%)
	総 数	0~14歳	15~16歳	65歳以上	0~ 14歳	15~ 64歳	65歳 以上	総 数	年 少 人 口	老 年 人 口	
9. Tropical South America											
1950	85,928	36,507	46,689	2,731	42.5	54.3	3.2	84.0	78.2	5.8	7.5
1955	99,709	43,312	53,520	2,876	43.4	53.7	2.9	86.3	80.9	5.4	6.6
1960	115,841	51,225	61,371	3,243	44.2	53.0	2.8	88.8	83.5	5.3	6.3
1965	134,139	59,740	70,532	3,867	44.5	52.6	2.9	90.2	84.7	5.5	6.5
1970	155,328	68,265	82,407	4,655	43.9	53.1	3.0	88.5	82.8	5.6	6.8
1975	179,578	77,443	96,577	5,559	43.1	53.7	3.1	85.9	80.2	5.8	7.2
1980	207,421	87,857	112,744	6,818	42.4	54.4	3.3	84.0	77.9	6.0	7.8
1985	238,774	99,050	131,502	8,224	41.5	55.1	3.4	81.6	75.3	6.3	8.3
1990	273,426	110,581	152,794	10,051	40.4	55.9	3.7	79.0	72.4	6.6	9.1
1995	310,907	121,470	177,189	12,248	39.1	57.0	3.9	75.5	68.6	6.9	10.1
2000	350,676	131,262	204,792	14,622	37.4	58.4	4.2	71.2	64.1	7.1	11.1
10. Northern America											
1950	166,073	45,093	107,527	13,454	27.2	64.7	8.1	54.4	41.9	12.5	29.8
1955	181,741	54,025	111,963	15,751	29.7	61.6	8.7	62.3	48.3	14.1	29.2
1960	198,662	62,106	118,527	18,028	31.3	59.7	9.1	67.6	52.4	15.2	29.0
1965	214,040	65,805	128,314	19,920	30.7	59.9	9.3	66.8	51.3	15.5	30.3
1970	226,389	64,351	140,168	21,871	28.4	61.9	9.7	61.5	45.9	15.6	34.0
1975	236,841	60,365	152,394	24,084	25.5	64.3	10.2	55.4	39.6	15.8	39.9
1980	248,833	59,275	163,338	26,221	23.8	65.6	10.5	52.3	36.3	16.1	44.2
1985	262,344	63,406	170,606	28,330	24.2	65.0	10.8	53.8	37.2	16.6	44.7
1990	275,136	67,793	176,865	30,479	24.6	64.3	11.1	55.6	38.3	17.2	45.0
1995	286,163	68,923	185,464	31,776	24.1	64.8	11.1	54.3	37.2	17.1	46.1
2000	296,199	67,501	196,755	31,943	22.8	66.4	10.8	50.5	34.3	16.2	47.3
11. China											
1950	558,190	190,751	336,543	30,895	34.2	60.3	5.5	65.9	56.7	9.2	16.2
1955	605,081	217,718	357,304	30,059	36.0	59.1	5.0	69.3	60.9	8.4	13.8
1960	654,488	241,207	380,958	32,324	36.9	58.2	4.9	71.8	63.3	8.5	13.4
1965	710,324	257,733	416,366	36,224	36.3	58.6	5.1	70.6	61.9	8.7	14.1
1970	771,840	265,655	464,775	41,413	34.4	60.2	5.4	66.1	57.2	8.9	15.6
1975	838,803	280,302	511,308	47,195	33.4	61.0	5.6	64.1	54.8	9.2	16.8
1980	907,609	294,584	559,691	53,334	32.5	61.7	5.9	62.2	52.6	9.5	18.1
1985	973,155	302,226	611,017	59,913	31.1	62.8	6.2	59.3	49.5	9.8	19.8
1990	1,031,142	297,787	666,095	67,261	28.9	64.6	6.5	54.8	44.7	10.1	22.6
1995	1,089,572	292,213	721,833	75,525	26.8	66.2	6.9	50.9	40.5	10.5	25.8
2000	1,147,987	290,283	772,941	84,762	25.3	67.3	7.4	48.5	37.6	11.0	29.2
12. Japan											
1950	83,625	29,643	49,847	4,135	35.4	59.6	4.9	67.8	59.5	8.3	13.9
1955	89,815	30,153	54,908	4,754	33.6	61.1	5.3	63.6	54.9	8.7	15.8
1960	94,096	28,426	60,273	5,397	30.2	64.1	5.7	56.1	47.2	9.0	19.0
1965	98,881	25,646	67,056	6,179	25.9	67.8	6.2	47.5	38.2	9.2	24.1
1970	104,331	25,072	71,888	7,371	24.0	68.9	7.1	45.1	34.9	10.3	29.4
1975	111,120	27,230	75,205	8,686	24.5	67.7	7.8	47.8	36.2	11.5	31.9
1980	117,546	29,101	78,364	10,081	24.8	66.7	8.6	50.0	37.1	12.9	34.6
1985	122,445	29,344	81,827	11,276	24.0	66.8	9.2	49.6	35.9	13.8	38.4
1990	126,213	27,745	85,572	12,896	22.0	67.8	10.2	47.5	32.4	15.1	46.5
1995	129,567	26,363	88,014	15,193	20.3	67.9	11.7	47.2	30.0	17.3	57.6
2000	132,929	26,647	88,676	17,607	20.0	66.7	13.2	49.9	30.0	19.9	66.1

9. ボリビア, ブラジル, コロンビア, エクアドル, ガイアナ, パラグアイ, ペルー, スリナム, ベネズエラから成る地域。

10. カナダ, アメリカ合衆国から成る地域。

11. 中国のみ。

12. 日本のみ。

付表 世界の主要地域・国別人口の年齢構造に関する主要指標(つづき)

年次	人 口 (1,000人)				年齢構造係数 (%)			従属人口指数 (%)			老年化 指 数 (%)
	総 数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~ 14歳	15~ 64歳	65歳 以上	総 数	年 少 人 口	老 年 人 口	
13. Other East Asia											
1950	33,005	13,525	18,471	1,011	41.0	56.0	3.1	78.7	73.2	5.5	7.5
1955	34,018	13,987	18,906	1,123	41.1	55.6	3.3	79.9	74.0	5.9	8.0
1960	39,396	16,920	21,171	1,305	42.9	53.7	3.3	86.1	79.9	6.2	7.7
1965	45,173	19,415	24,223	1,535	43.0	53.6	3.4	86.5	80.2	6.3	7.9
1970	50,694	21,402	27,572	1,721	42.2	54.4	3.4	83.9	77.6	6.2	8.0
1975	56,456	21,753	32,636	2,068	38.5	57.8	3.7	73.0	66.7	6.3	9.5
1980	62,594	22,403	37,691	2,498	35.8	60.2	4.0	66.1	59.4	6.6	11.2
1985	69,247	23,819	42,463	2,964	34.4	61.3	4.3	63.1	56.1	7.0	12.4
1990	76,143	25,353	47,245	3,544	33.3	62.0	4.7	61.2	53.7	7.5	14.0
1995	82,803	26,347	52,299	4,156	31.8	63.2	5.0	58.3	50.4	7.9	15.8
2000	89,145	26,570	57,601	4,974	29.8	64.6	5.6	54.8	46.1	8.6	18.7
14. Eastern South Asia											
1950	173,228	70,384	96,603	6,242	40.6	55.8	3.6	79.3	72.9	6.5	8.9
1955	191,741	76,949	108,569	6,223	40.1	56.6	3.2	76.6	70.9	5.7	8.1
1960	216,986	89,028	121,545	6,412	41.0	56.0	3.0	78.5	73.2	5.3	7.2
1965	247,747	106,657	133,665	7,426	43.1	54.0	3.0	85.3	79.8	5.6	7.0
1970	282,969	123,865	150,826	8,276	43.8	53.3	2.9	87.6	82.1	5.5	6.7
1975	323,836	141,248	173,025	9,563	43.6	53.4	3.0	87.2	81.6	5.5	6.8
1980	370,855	160,023	199,880	10,951	43.1	53.9	3.0	85.5	80.1	5.5	6.8
1985	423,221	179,819	230,482	12,920	42.5	54.5	3.1	83.6	78.0	5.6	7.2
1990	478,712	196,656	266,640	15,416	41.1	55.7	3.2	79.5	73.8	5.8	7.8
1995	535,640	209,172	307,876	18,592	39.1	57.5	3.5	74.0	67.9	6.0	8.9
2000	591,622	215,765	352,979	22,879	36.5	59.7	3.9	67.6	61.1	6.5	10.6
15. Middle South Asia											
1950	475,345	188,923	265,681	20,740	39.7	55.9	4.4	78.9	71.1	7.8	11.0
1955	520,353	209,952	289,651	20,752	40.3	55.7	4.0	79.6	72.5	7.2	9.9
1960	580,563	241,185	318,837	20,541	41.5	54.9	3.5	82.1	75.6	6.4	8.5
1965	655,811	280,774	354,440	20,596	42.8	54.0	3.1	85.0	79.2	5.8	7.3
1970	741,710	320,981	399,108	21,619	43.3	53.8	2.9	85.8	80.4	5.4	6.7
1975	837,799	360,195	453,064	24,539	43.0	54.1	2.9	84.9	79.5	5.4	6.8
1980	953,997	404,858	520,627	28,511	42.4	54.6	3.0	83.2	77.8	5.5	7.0
1985	1,083,462	453,499	596,240	33,719	41.9	55.0	3.1	81.7	76.1	5.7	7.4
1990	1,221,669	498,449	682,889	40,331	40.8	55.9	3.3	78.9	73.0	5.9	8.1
1995	1,362,961	530,097	784,477	48,385	38.9	57.6	3.5	73.7	67.6	6.2	9.1
2000	1,501,213	546,298	897,217	57,697	36.4	59.8	3.8	67.3	60.9	6.4	10.6
16. Western South Asia											
1950	44,343	17,833	24,970	1,538	40.2	56.3	3.5	77.6	71.4	6.2	8.6
1955	50,721	20,838	28,134	1,750	41.1	55.5	3.5	80.3	74.1	6.2	8.4
1960	58,161	24,619	31,563	1,979	42.3	54.3	3.4	84.3	78.0	6.3	8.0
1965	66,599	28,634	35,485	2,482	43.0	53.3	3.7	87.7	80.7	7.0	8.7
1970	76,520	32,893	40,709	2,917	43.0	53.2	3.8	88.0	80.8	7.2	8.9
1975	88,158	37,997	46,710	3,451	43.1	53.0	3.9	88.7	81.3	7.4	9.1
1980	101,992	44,010	53,944	4,038	43.2	52.9	4.0	89.1	81.6	7.5	9.2
1985	118,039	50,815	62,868	4,356	43.0	53.3	3.7	87.8	80.8	6.9	8.6
1990	135,877	57,475	73,397	5,005	42.3	54.0	3.7	85.1	78.3	6.8	8.7
1995	155,009	63,366	85,631	6,012	40.9	55.2	3.9	81.0	74.0	7.0	9.5
2000	174,432	67,344	99,754	7,335	38.6	57.2	4.2	74.9	67.5	7.4	10.9

13. ホンコン、朝鮮、モンゴルから成る地域。

14. ビルマ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、フィリピン、ポルトガル領チモール、シンガポール、タイ、ベトナムから成る地域。

15. アフガニスタン、バングラデシュ、ブータン、インド、イラン、ネパール、パキスタン、スリランカから成る地域。

16. キプロス、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェート、レバノン、サウジアラビア、シリアンアラブ、トルコ、イエメン、その他の西部南アジア地域から成る。

付表 世界の主要地域・国別人口の年齢構造に関する主要指標（つづき）

年次	人 口 (1,000人)				年齢構造係数 (%)			従属人口指数 (%)			老年化指数 (%)
	総 数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上	総 数	年 少 人 口	老 年 人 口	
17. Eastern Europe											
1950	88,500	23,628	58,650	6,222	26.7	66.3	7.0	50.9	40.3	10.6	26.3
1955	92,967	25,135	60,591	7,241	27.1	65.1	7.8	53.4	41.5	12.0	28.8
1960	96,709	27,035	61,706	7,968	28.0	63.8	8.2	56.7	43.8	12.9	29.5
1965	100,055	26,772	64,017	9,265	26.8	64.0	9.3	56.3	41.8	14.5	34.6
1970	102,942	25,368	66,866	10,706	24.6	65.0	10.4	53.9	37.9	16.0	42.2
1975	106,267	24,547	69,478	12,241	23.1	65.4	11.5	52.9	35.3	17.6	49.9
1980	109,647	25,285	71,199	13,162	23.1	64.9	12.0	54.0	35.5	18.5	52.1
1985	112,771	25,885	74,575	12,313	23.0	66.1	10.9	51.2	34.7	16.5	47.6
1990	115,607	26,243	76,020	13,341	22.7	65.8	11.5	52.1	34.5	17.5	50.8
1995	118,405	26,205	77,559	14,640	22.1	65.5	12.4	52.7	33.8	18.9	55.9
2000	121,437	26,341	79,160	15,937	21.7	65.2	13.1	53.4	33.3	20.1	60.5
18. Northern Europe											
1950	72,477	17,021	47,987	7,469	23.5	66.2	10.3	51.0	35.5	15.6	43.9
1955	73,832	17,767	48,082	7,984	24.1	65.1	10.8	53.6	37.0	16.6	44.9
1960	75,834	18,291	48,955	8,587	24.1	64.6	11.3	54.9	37.4	17.5	46.9
1965	78,566	18,584	50,752	9,229	23.7	64.6	11.7	54.8	36.6	18.2	49.7
1970	80,309	19,398	50,731	10,180	24.2	63.2	12.7	58.3	38.2	20.1	52.5
1975	81,975	19,472	51,454	11,049	23.8	62.8	13.5	59.3	37.8	21.5	56.7
1980	83,740	19,272	52,689	11,779	23.0	62.9	14.1	58.9	36.6	22.4	61.1
1985	85,501	19,404	54,116	11,981	22.7	63.3	14.0	58.0	35.9	22.1	61.7
1990	87,424	20,074	55,044	12,306	23.0	63.0	14.1	58.8	36.5	22.4	61.3
1995	89,355	20,535	56,591	12,230	23.0	63.3	13.7	57.9	36.3	21.6	59.6
2000	91,320	20,864	58,542	11,914	22.8	64.1	13.0	56.0	35.6	20.4	57.1
19. Southern Europe											
1950	108,552	30,198	70,336	8,020	27.8	64.8	7.4	54.3	42.9	11.4	26.6
1955	113,120	30,407	73,653	9,060	26.9	65.1	8.0	53.6	41.3	12.3	29.8
1960	118,098	32,038	76,231	9,829	27.1	64.5	8.3	54.9	42.0	12.9	30.7
1965	123,357	32,901	79,651	10,806	26.7	64.6	8.8	54.9	41.3	13.6	32.8
1970	127,696	33,745	81,402	12,551	26.4	63.7	9.8	56.9	41.5	15.4	37.2
1975	132,354	33,771	84,243	14,340	25.5	63.6	10.8	57.1	40.1	17.0	42.5
1980	137,106	33,426	87,707	15,973	24.4	64.0	11.7	56.3	38.1	18.2	47.8
1985	141,875	33,540	92,229	16,105	23.6	65.0	11.4	53.8	36.4	17.5	48.0
1990	146,669	34,450	94,449	17,769	23.5	64.4	12.1	55.3	36.5	18.8	51.6
1995	151,293	35,303	96,376	19,613	23.3	63.7	13.0	57.0	36.6	20.4	55.6
2000	155,685	35,833	98,579	21,273	23.0	63.3	13.7	57.9	36.3	21.6	59.4
20. Western Europe											
1950	122,439	28,654	81,394	12,393	23.4	66.5	10.1	50.4	35.2	15.2	43.3
1955	127,697	29,718	84,410	13,570	23.3	66.1	10.6	51.3	35.2	16.1	45.7
1960	134,513	32,374	87,256	14,885	24.1	64.9	11.1	54.2	37.1	17.1	46.0
1965	143,012	34,719	91,361	16,933	24.3	63.9	11.8	56.5	38.0	18.5	48.8
1970	148,137	35,843	93,345	18,948	24.2	63.0	12.8	58.7	38.4	20.3	52.9
1975	152,503	35,304	96,517	20,682	23.1	63.3	13.6	58.0	36.6	21.4	58.6
1980	156,049	33,806	100,605	21,638	21.7	64.5	13.9	55.1	33.6	21.5	64.0
1985	159,825	33,420	106,146	20,260	20.9	66.4	12.7	50.6	31.5	19.1	60.6
1990	163,906	34,725	107,717	21,463	21.2	65.7	13.1	52.2	32.2	19.9	61.8
1995	167,702	35,818	109,240	22,643	21.4	65.1	13.5	53.5	32.8	20.7	63.2
2000	171,058	35,965	111,271	23,823	21.0	65.0	13.9	53.7	32.3	21.4	66.2

17. ブルガリア、チェコスロバキア、東ドイツ、ハンガリー、ポーランド、ルーマニアから成る地域。

18. デンマーク、フィンランド、アイスランド、アイルランド、ノルウェー、スウェーデン、イギリスから成る地域。

19. アルバニア、ギリシア、イタリア、マルタ、ポルトガル、スペイン、ユーゴスラビアから成る地域。

20. オーストリア、ベルギー、フランス、西ドイツ、ルクセンブルク、オランダ、スイスから成る地域。

付表 世界の主要地域・国別人口の年齢構造に関する主要指標（つづき）

年次	人 口 (1,000人)				年齢構造係数 (%)			従属人口指数 (%)			老年化 指 数 (%)
	総 数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~ 14歳	15~ 64歳	65歳 以上	総 数	年 少 人 口	老 年 人 口	
21. Australia-New Zealand											
1950	10,127	2,734	6,554	839	27.0	64.7	8.3	54.5	41.7	12.8	30.7
1955	11,376	3,344	7,066	966	29.4	62.1	8.5	61.0	47.3	13.7	28.9
1960	12,687	3,885	7,724	1,078	30.6	60.9	8.5	64.3	50.3	14.0	27.7
1965	14,015	4,233	8,602	1,180	30.2	61.4	8.4	62.9	49.2	13.7	27.9
1970	15,371	4,515	9,568	1,287	29.4	62.2	8.4	60.6	47.2	13.5	28.5
1975	16,840	4,822	10,578	1,440	28.6	62.8	8.6	59.2	45.6	13.6	29.9
1980	18,403	5,219	11,542	1,642	28.4	62.7	8.9	59.4	45.2	14.2	31.5
1985	19,997	5,747	12,440	1,809	28.7	62.2	9.0	60.7	46.2	14.5	31.5
1990	21,549	6,107	13,414	2,029	28.3	62.2	9.4	60.7	45.5	15.1	33.2
1995	23,038	6,324	14,517	2,197	27.5	63.0	9.5	58.7	43.6	15.1	34.7
2000	24,512	6,493	15,755	2,265	26.5	64.3	9.2	55.6	41.2	14.4	34.9
22. Melanesia											
1950	1,827	725	1,029	74	39.7	56.3	4.1	77.6	70.5	7.2	10.2
1955	1,983	793	1,121	68	40.0	56.5	3.4	76.8	70.7	6.1	8.6
1960	2,190	890	1,231	69	40.6	56.2	3.2	77.9	72.3	5.6	7.8
1965	2,458	1,025	1,357	74	41.7	55.2	3.0	81.0	75.5	5.5	7.2
1970	2,771	1,174	1,511	85	42.4	54.5	3.1	83.3	77.7	5.6	7.2
1975	3,126	1,325	1,704	98	42.4	54.5	3.1	83.5	77.8	5.8	7.4
1980	3,555	1,501	1,941	114	42.2	54.6	3.2	83.2	77.3	5.9	7.6
1985	4,057	1,708	2,218	133	42.1	54.7	3.3	83.0	77.0	6.0	7.8
1990	4,630	1,946	2,529	156	42.0	54.6	3.4	83.1	76.9	6.2	8.0
1995	5,246	2,157	2,907	182	41.1	55.4	3.5	80.5	74.2	6.3	8.4
2000	5,847	2,280	3,354	214	39.0	57.4	3.7	74.4	68.0	6.4	9.4
23. Micronesia-Polynesia											
1950	678	299	355	24	44.1	52.4	3.5	91.0	84.2	6.8	8.0
1955	780	357	396	27	45.8	50.8	3.5	97.0	90.2	6.8	7.6
1960	894	421	448	25	47.1	50.1	2.8	99.6	94.0	5.6	5.9
1965	1,034	479	527	30	46.3	51.0	2.9	96.6	90.9	5.7	6.3
1970	1,181	527	622	33	44.6	52.7	2.8	90.0	84.7	5.3	6.3
1975	1,341	555	747	37	41.4	55.7	2.8	79.3	74.3	5.0	6.7
1980	1,524	592	886	47	38.8	58.1	3.1	72.1	66.8	5.3	7.9
1985	1,722	640	1,022	58	37.2	59.3	3.4	68.3	62.6	5.7	9.1
1990	1,930	696	1,161	73	36.1	60.2	3.8	66.2	59.9	6.3	10.5
1995	2,147	744	1,316	88	34.7	61.3	4.1	63.2	56.5	6.7	11.8
2000	2,356	770	1,481	106	32.7	62.9	4.5	59.1	52.0	7.2	13.8
24. U. S. S. R.											
1950	180,075	54,156	114,945	10,974	30.1	63.8	6.1	56.7	47.1	9.5	20.3
1955	196,159	54,614	128,840	12,705	27.8	65.7	6.5	52.3	42.4	9.9	23.3
1960	214,329	65,754	134,091	14,484	30.7	62.6	6.8	59.8	49.0	10.8	22.0
1965	230,936	70,564	143,337	17,035	30.6	62.1	7.4	61.1	49.2	11.9	24.1
1970	242,768	69,540	154,284	18,944	28.6	63.6	7.8	57.4	45.1	12.3	27.2
1975	255,038	65,749	166,150	23,138	25.8	65.1	9.1	53.5	39.6	13.9	35.2
1980	268,115	65,106	175,892	27,118	24.3	65.6	10.1	52.4	37.0	15.4	41.7
1985	281,540	69,790	184,541	27,211	24.8	65.5	9.7	52.6	37.8	14.7	39.0
1990	293,742	73,331	190,928	29,483	25.0	65.0	10.0	53.8	38.4	15.4	40.2
1995	304,607	74,527	194,407	35,674	24.5	63.8	11.7	56.7	38.3	18.4	47.9
2000	315,027	74,246	202,209	38,572	23.6	64.2	12.2	55.8	36.7	19.1	52.0

21. オーストラリアとニュージーランドから成る地域。

22. パプアニューギニアとその他メラネシアから成る地域。

23. ミクロネシア, ポリネシア, フィジーとその他のポリネシアから成る地域。

24. ソビエト連邦のみ。

付表 世界の主要地域・国別人口の年齢構造に関する主要指標 (つづき)

年次	人 口 (1,000人)				年齢構造係数 (%)			従属人口指数 (%)			老年化 指 数 (%)
	総 数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~ 14歳	15~ 64歳	65歳 以上	総 数	年 少 人 口	老 年 人 口	
Mexico											
1950	26,606	11,400	14,335	871	42.8	53.9	3.3	85.6	79.5	6.1	7.6
1955	30,949	13,692	16,229	1,028	44.2	52.4	3.3	90.7	84.4	6.3	7.5
1960	36,369	16,600	18,551	1,218	45.6	51.0	3.3	96.0	89.5	6.6	7.3
1965	42,859	20,059	21,314	1,486	46.8	49.7	3.5	101.1	94.1	7.0	7.4
1970	50,313	23,382	25,154	1,776	46.5	50.0	3.5	100.0	93.0	7.1	7.6
1975	59,204	27,169	29,941	2,095	45.9	50.6	3.5	97.7	90.7	7.0	7.7
1980	69,965	31,748	35,749	2,468	45.4	51.1	3.5	95.7	88.8	6.9	7.8
1985	82,803	37,437	42,632	2,735	45.2	51.5	3.3	94.2	87.8	6.4	7.3
1990	97,585	43,721	50,632	3,234	44.8	51.9	3.3	92.7	86.4	6.4	7.4
1995	114,055	49,941	60,297	3,816	43.8	52.9	3.3	89.2	82.8	6.3	7.6
2000	132,244	55,905	71,806	4,531	42.3	54.3	3.4	84.2	77.9	6.3	8.1
Argentina											
1950	17,150	5,236	11,193	722	30.5	65.3	4.2	53.2	46.8	6.5	13.8
1955	18,928	5,820	12,193	915	30.7	64.4	4.8	55.2	47.7	7.5	15.7
1960	20,611	6,344	13,126	1,141	30.8	63.7	5.5	57.0	48.3	8.7	18.0
1965	22,179	6,691	14,087	1,400	30.2	63.5	6.3	57.4	47.5	9.9	20.9
1970	23,748	6,920	15,128	1,702	29.1	63.7	7.2	57.0	45.7	11.3	24.6
1975	25,384	7,236	16,133	2,017	28.5	63.6	7.9	57.4	44.9	12.5	27.9
1980	27,064	7,638	17,104	2,321	28.2	63.2	8.6	58.2	44.7	13.6	30.4
1985	28,678	8,014	18,061	2,602	27.9	63.0	9.1	58.8	44.4	14.4	32.5
1990	30,189	8,222	19,058	2,911	27.2	63.1	9.6	58.4	43.1	15.3	35.4
1995	31,584	8,260	20,104	3,220	26.2	63.7	10.2	57.1	41.1	16.0	39.0
2000	32,861	8,226	21,193	3,443	25.0	64.5	10.5	55.1	38.8	16.2	41.9
Canada											
1950	13,737	4,077	8,606	1,054	29.7	62.6	7.7	59.6	47.4	12.2	25.9
1955	15,736	5,051	9,466	1,219	32.1	60.2	7.7	66.2	53.4	12.9	24.1
1960	17,909	6,007	10,559	1,343	33.5	59.0	7.5	69.6	56.9	12.7	22.4
1965	19,644	6,557	11,581	1,506	33.4	59.0	7.7	69.6	56.6	13.0	23.0
1970	21,406	6,464	13,260	1,683	30.2	61.9	7.9	61.4	48.7	12.7	26.0
1975	22,801	6,193	14,705	1,902	27.2	64.5	8.3	55.0	42.1	12.9	30.7
1980	24,576	6,274	16,147	2,158	25.5	65.7	8.8	52.2	38.9	13.4	34.4
1985	26,511	7,014	17,105	2,392	26.5	64.5	9.0	55.0	41.0	14.0	34.1
1990	28,357	7,637	18,024	2,695	26.9	63.6	9.5	57.3	42.4	15.0	35.3
1995	30,000	7,789	19,280	2,930	26.0	64.3	9.8	55.6	40.4	15.2	37.6
2000	31,613	7,774	20,757	3,082	24.6	65.7	9.7	52.3	37.5	14.8	39.6
United States of America											
1950	152,271	40,998	98,878	12,395	26.9	64.9	8.1	54.0	41.5	12.5	30.2
1955	165,932	48,953	102,453	14,526	29.5	61.7	8.8	62.0	47.8	14.2	29.7
1960	180,671	56,073	107,920	16,678	31.0	59.7	9.2	67.4	52.0	15.5	29.7
1965	194,303	59,219	116,678	18,406	30.5	60.0	9.5	66.5	50.8	15.8	31.1
1970	204,879	57,858	126,844	20,177	28.2	61.9	9.8	61.5	45.6	15.9	34.9
1975	213,925	54,143	137,612	22,170	25.3	64.3	10.4	55.5	39.3	16.1	40.9
1980	224,133	52,971	147,111	24,051	23.6	65.6	10.7	52.4	36.0	16.3	45.4
1985	235,701	56,361	153,416	25,924	23.9	65.1	11.0	53.6	36.7	16.9	46.0
1990	246,639	60,121	158,751	27,767	24.4	64.4	11.3	55.4	37.9	17.5	46.2
1995	256,015	61,099	166,086	28,830	23.9	64.9	11.3	54.1	36.8	17.4	47.2
2000	264,430	59,693	175,894	28,843	22.6	66.5	10.9	50.3	33.9	16.4	48.3

付表 世界の主要地域・国別人口の年齢構造に関する主要指標（つづき）

年次	人 口 (1,000人)				年齢構造係数 (%)			従属人口指数 (%)			老年化 指 数 (%)
	総 数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~ 14歳	15~ 64歳	65歳 以上	総 数	年 少 人 口	老 年 人 口	
Philippines											
1950	20,988	9,149	11,086	752	43.6	52.8	3.6	89.3	82.5	6.8	8.2
1955	23,913	10,571	12,558	783	44.2	52.5	3.3	90.4	84.2	6.2	7.4
1960	27,561	12,293	14,428	839	44.6	52.3	3.0	91.0	85.2	5.8	6.8
1965	32,030	14,407	16,684	940	45.0	52.1	2.9	92.0	86.4	5.6	6.5
1970	37,604	17,106	19,411	1,086	45.5	51.6	2.9	93.7	88.1	5.6	6.3
1975	44,437	20,400	22,706	1,329	45.9	51.1	3.0	95.7	89.8	5.9	6.5
1980	52,203	23,861	26,749	1,591	45.7	51.2	3.0	95.2	89.2	5.9	6.7
1985	60,842	27,164	31,845	1,832	44.6	52.3	3.0	91.1	85.3	5.8	6.7
1990	70,119	29,919	38,078	2,121	42.7	54.3	3.0	84.1	78.6	5.6	7.1
1995	79,876	32,250	45,204	2,420	40.4	56.6	3.0	76.7	71.3	5.4	7.5
2000	89,707	33,827	52,937	2,942	37.7	59.0	3.3	69.5	63.9	5.6	8.7
German Democratic Republic*											
1950	18,387	4,200	12,244	1,943	22.8	66.6	10.6	50.2	34.3	15.9	46.3
1955	17,944	3,780	11,963	2,201	21.1	66.7	12.3	50.0	31.6	18.4	58.2
1960	17,240	3,633	11,249	2,358	21.1	65.2	13.7	53.3	32.3	21.0	64.9
1965	17,019	4,057	10,478	2,484	23.8	61.6	14.6	62.4	38.7	23.7	61.2
1970	17,058	3,984	10,423	2,651	23.4	61.1	15.5	63.7	38.2	25.4	66.5
1975	17,127	3,814	10,464	2,847	22.3	61.1	16.6	63.7	36.4	27.2	74.6
1980	17,228	3,601	10,800	2,828	20.9	62.7	16.4	59.5	33.3	26.2	78.5
1985	17,368	3,633	11,306	2,430	20.9	65.1	14.0	53.6	32.1	21.5	66.9
1990	17,532	3,742	11,470	2,320	21.3	65.4	13.2	52.9	32.6	20.2	62.0
1995	17,710	3,743	11,645	2,322	21.1	65.8	13.1	52.1	32.1	19.9	62.0
2000	17,932	3,678	11,813	2,440	20.5	65.9	13.6	51.8	31.1	20.7	66.3
Sweden											
1950	7,014	1,644	4,651	719	23.4	66.3	10.3	50.8	35.3	15.5	43.7
1955	7,262	1,725	4,745	792	23.8	65.3	10.9	53.0	36.4	16.7	45.9
1960	7,480	1,646	4,939	895	22.0	66.0	12.0	51.4	33.3	18.1	54.4
1965	7,734	1,620	5,135	979	20.9	66.4	12.7	50.6	31.5	19.1	60.4
1970	8,043	1,676	5,268	1,099	20.8	65.5	13.7	52.7	31.8	20.9	65.6
1975	8,291	1,738	5,321	1,234	21.0	64.2	14.9	55.9	32.7	23.2	71.0
1980	8,546	1,802	5,408	1,338	21.1	63.3	15.7	58.1	33.3	24.7	74.3
1985	8,770	1,836	5,533	1,401	20.9	63.1	16.0	58.5	33.2	25.3	76.3
1990	8,981	1,886	5,646	1,449	21.0	62.9	16.1	59.1	33.4	25.7	76.8
1995	9,184	1,910	5,855	1,420	20.8	63.8	15.5	56.9	32.6	24.3	74.3
2000	9,390	1,947	6,083	1,359	20.7	64.8	14.5	54.3	32.0	22.3	69.8
United Kingdom											
1950	50,616	11,306	33,881	5,429	22.3	66.9	10.7	49.4	33.4	16.0	48.0
1955	51,199	11,712	33,716	5,771	22.9	65.9	11.3	51.9	34.7	17.1	49.3
1960	52,559	12,227	34,195	6,137	23.3	65.1	11.7	53.7	35.8	17.9	50.2
1965	54,520	12,665	35,311	6,544	23.2	64.8	12.0	54.4	35.9	18.5	51.7
1970	55,480	13,454	34,848	7,178	24.3	62.8	12.9	59.2	38.6	20.6	53.4
1975	56,427	13,570	35,162	7,695	24.0	62.3	13.6	60.5	38.6	21.9	56.7
1980	57,519	13,416	35,967	8,136	23.3	62.5	14.1	59.9	37.3	22.6	60.6
1985	58,667	13,568	36,929	8,170	23.1	62.9	13.9	58.9	36.7	22.1	60.2
1990	59,993	14,132	37,516	8,345	23.6	62.5	13.9	59.9	37.7	22.2	59.1
1995	61,363	14,532	38,551	8,280	23.7	62.8	13.5	59.2	37.7	21.5	57.0
2000	62,794	14,816	39,911	8,067	23.6	63.6	12.8	57.3	37.1	20.2	54.4

* 東ベルリンを含む。

付表 世界の主要地域・国別人口の年齢構造に関する主要指標（つづき）

年次	人 口 (1,000人)				年齢構造係数 (%)			従属人口指数 (%)			老年化 指 数 (%)
	総 数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~ 14歳	15~ 64歳	65歳 以上	総 数	年 少 人 口	老 年 人 口	
Italy											
1950	46,769	12,309	30,598	3,862	26.3	65.4	8.3	52.8	40.2	12.6	31.4
1955	48,200	11,930	31,871	4,399	24.8	66.1	9.1	51.2	37.4	13.8	36.9
1960	50,223	12,521	33,023	4,679	24.9	65.8	9.3	52.1	37.9	14.2	37.4
1965	51,944	12,612	34,212	5,120	24.3	65.9	9.9	51.8	36.9	15.0	40.6
1970	53,565	13,053	34,799	5,714	24.4	65.0	10.7	53.9	37.5	16.4	43.8
1975	55,023	13,193	35,365	6,467	24.0	64.3	11.8	55.6	37.3	18.3	49.0
1980	56,319	12,808	36,272	7,239	22.7	64.4	12.9	55.3	35.3	20.0	56.5
1985	57,508	12,428	37,987	7,093	21.6	66.1	12.3	51.4	32.7	18.7	57.1
1990	58,677	12,469	38,401	7,808	21.3	65.4	13.3	52.8	32.5	20.3	62.6
1995	59,801	12,682	38,711	8,408	21.2	64.7	14.1	54.5	32.8	21.7	66.3
2000	60,876	12,858	39,071	8,947	21.1	64.2	14.7	55.8	32.9	22.9	69.6
France											
1950	41,736	9,477	27,508	4,751	22.7	65.9	11.4	51.7	34.5	17.3	50.1
1955	43,428	10,621	27,786	5,021	24.5	64.0	11.6	56.3	38.2	18.1	47.3
1960	45,684	12,047	28,320	5,317	26.4	62.0	11.6	61.3	42.5	18.8	44.1
1965	48,758	12,485	30,369	5,904	25.6	62.3	12.1	60.6	41.1	19.4	47.3
1970	50,670	12,578	31,570	6,521	24.8	62.3	12.9	60.5	39.8	20.7	51.8
1975	52,913	12,809	33,047	7,056	24.2	62.5	13.3	60.1	38.8	21.4	55.1
1980	55,103	13,098	34,642	7,363	23.8	62.9	13.4	59.1	37.8	21.3	56.2
1985	57,052	13,343	36,822	6,890	23.4	64.5	12.1	54.9	36.2	18.7	51.6
1990	58,816	13,406	37,900	7,512	22.8	64.4	12.8	55.2	35.4	19.8	56.0
1995	60,508	13,319	39,128	8,062	22.0	64.7	13.3	54.6	34.0	20.6	60.5
2000	62,131	13,354	40,264	8,513	21.5	64.8	13.7	54.3	33.2	21.1	63.7
Germany, Federal Republic of*											
1950	49,989	11,654	33,633	4,702	23.3	67.3	9.4	48.6	34.7	14.0	40.3
1955	52,382	11,126	35,940	5,316	21.2	68.6	10.1	45.7	31.0	14.8	47.8
1960	55,433	11,828	37,593	6,012	21.3	67.8	10.8	47.5	31.5	16.0	50.8
1965	59,012	13,317	38,657	7,038	22.6	65.5	11.9	52.7	34.4	18.2	52.8
1970	60,700	14,061	38,636	8,003	23.2	63.7	13.2	57.1	36.4	20.7	56.9
1975	61,682	13,436	39,438	8,808	21.8	63.9	14.3	56.4	34.1	22.3	65.6
1980	62,023	11,962	40,847	9,215	19.3	65.9	14.9	51.8	29.3	22.6	77.0
1985	62,858	11,388	43,043	8,428	18.1	68.5	13.4	46.0	26.5	19.6	74.0
1990	64,188	12,425	43,042	8,719	19.4	67.1	13.6	49.1	28.9	20.3	70.2
1995	65,370	13,459	42,787	9,125	20.6	65.5	14.0	52.8	31.5	21.3	67.8
2000	66,242	13,568	43,034	9,640	20.5	65.0	14.6	53.9	31.5	22.4	71.0
Australia											
1950	8,219	2,179	5,372	668	26.5	65.4	8.1	53.0	40.6	12.4	30.7
1955	9,240	2,677	5,789	774	29.0	62.7	8.4	59.6	46.2	13.4	28.9
1960	10,315	3,105	6,337	873	30.1	61.4	8.5	62.8	49.0	13.8	28.1
1965	11,387	3,376	7,045	966	29.6	61.9	8.5	61.6	47.9	13.7	28.6
1970	12,552	3,620	7,884	1,047	28.8	62.8	8.3	59.2	45.9	13.3	28.9
1975	13,809	3,905	8,731	1,174	28.3	63.2	8.5	58.2	44.7	13.4	30.1
1980	15,140	4,258	9,535	1,345	28.1	63.0	8.9	58.8	44.7	14.1	31.6
1985	16,490	4,714	10,288	1,487	28.6	62.4	9.0	60.3	45.8	14.5	31.5
1990	17,796	5,009	11,107	1,679	28.1	62.4	9.4	60.2	45.1	15.1	33.5
1995	19,034	5,176	12,030	1,827	27.2	63.2	9.6	58.2	43.0	15.2	35.3
2000	20,245	5,295	13,060	1,891	26.2	64.5	9.3	55.0	40.5	14.5	35.7

* 西ベルリンを含む。

Forecasts of Age Structure of the Population of Japan and Some International Comparisons

Kiichi YAMAGUCHI and Rieko KASAHARA

In the case of Japan we use the results of Population Census in 1975 (Result for One-percent Tabulation). The population aged 0 to 14 is 27.19 million, which amount to 24.3 per cent of all the Japanese population (111.93 million). The population aged 15 to 64 is 75.84 million, which amount to 67.8 per cent. The population aged 65 and over is 8.86 million, which amount to 7.9 per cent.

These figures show that the productive population aged 15 to 64 is remarkably large in Japan, and the proportion of the old aged population is rather small in comparison with those of developed countries in Europe that vary between 10 and 15 per cent. Accordingly it will be assumed that present Japan is going through a process of increasing the proportion of the middle or mature aged persons, not the old aged persons. The proportion of the infant population is rather small.

According to the latest data on "Population by Sex and Age for Regions and Countries, 1950-2000, as Assessed in 1973: Medium Variant" of the United Nations, the proportion of the population aged 65 and over of northern European countries including a country which has the most aged population is 13.5 per cent in 1975 and will be 14.1 per cent in 1980, 14.0 per cent in 1985, 14.1 per cent in 1990, 13.7 per cent in 1995 and 13.0 per cent in 2000. These results show that trends of aging in these countries will be less severe.

We can find the similar downward trend in other western countries. Consequently we can say that developed countries, which have slowly increased the proportion of their old aged population for a long time, now reach the peak of the aging trend. On the other hand, it is assumed that Japan follows the same trend in haste and will catch up with it to have the more aging population. The reason is that we, Institute of Population Problems, estimate that the proportion of the population aged 65 and over will reach to 10 per cent in the latter half of 1980s and exceed 15 per cent in the period 2000 to 2005.